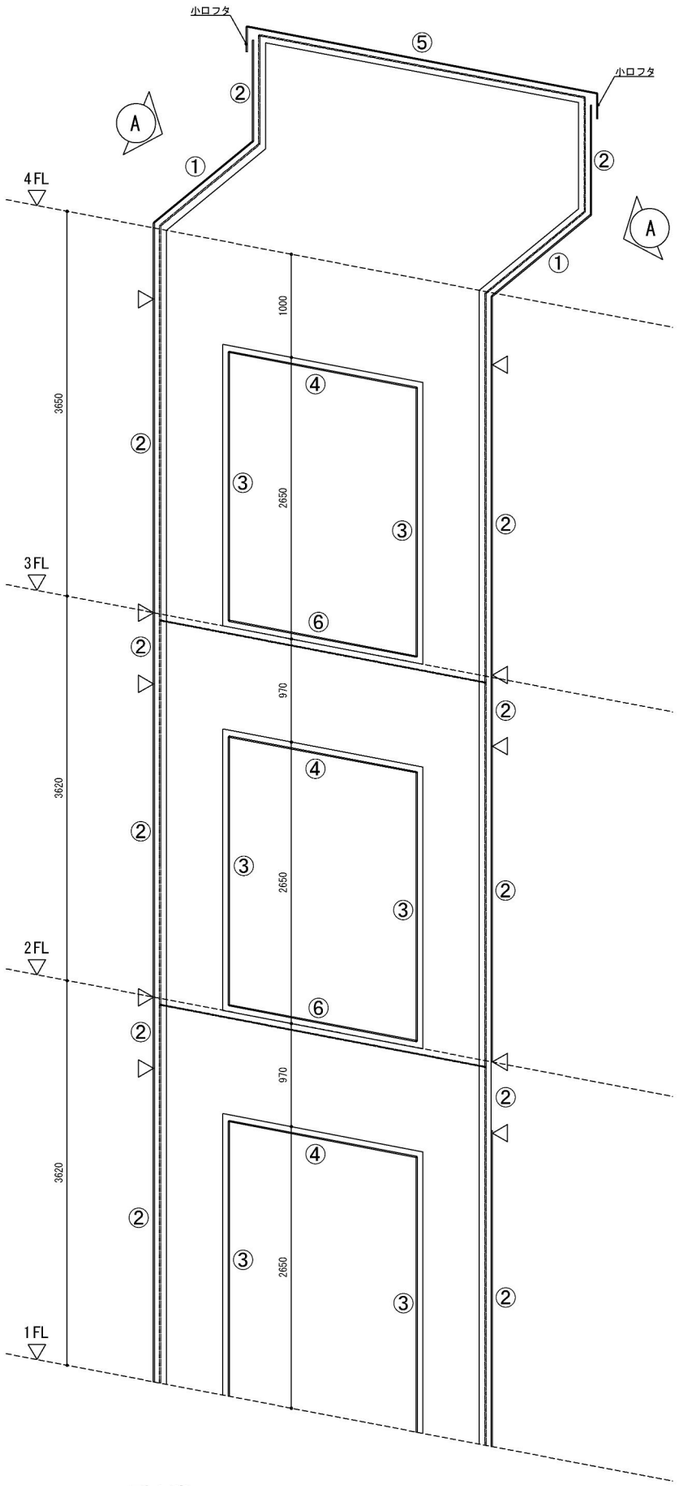
EXP.J ルート図（ELV−廊下）　S=1:50

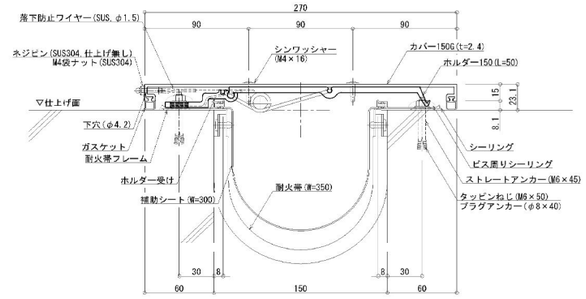


：耐火帯

井上商事株式会社　アイエスパンション　同等品可

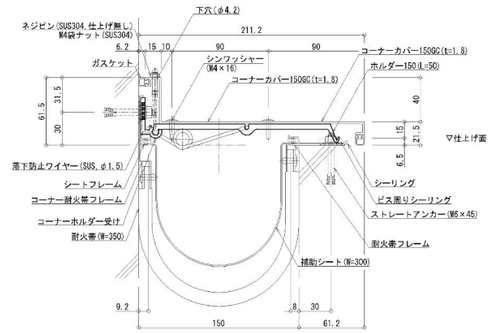
① 外壁ー外壁（アルミ材）耐火仕様 アルミISパンションSL-150G

クリアランス	150mm
可動量(X)	75mm



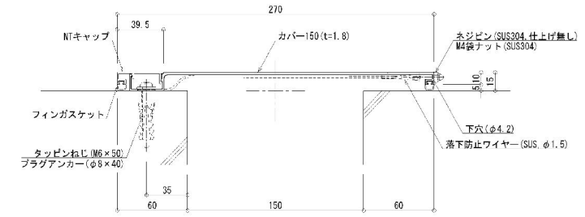
② 外壁コーナー（アルミ材）耐火仕様 アルミISパンションSL-150GC

クリアランス	150mm
可動量(X)	75mm



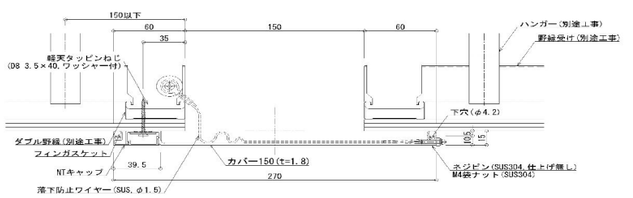
③ 内壁ー内壁（アルミ材）アルミISパンションSL-150N

クリアランス	150mm
可動量(X)	75mm



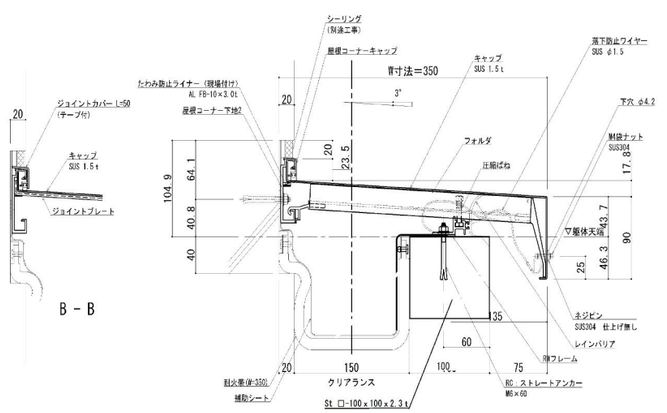
④ 天井ー天井（アルミ材）（2・3FL） アルミISパンションSL-150T

クリアランス	150mm
可動量(X)	75mm



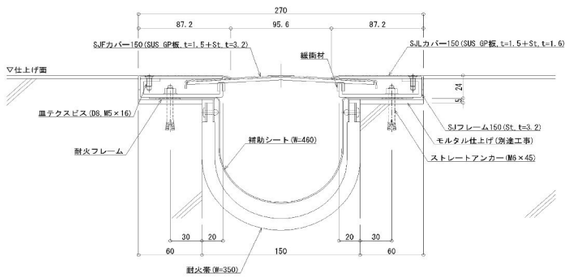
⑤ 屋根（アルミ材）耐火仕様　アルミISパンションSL-RCW

クリアランス	150mm
可動量(X)	75mm

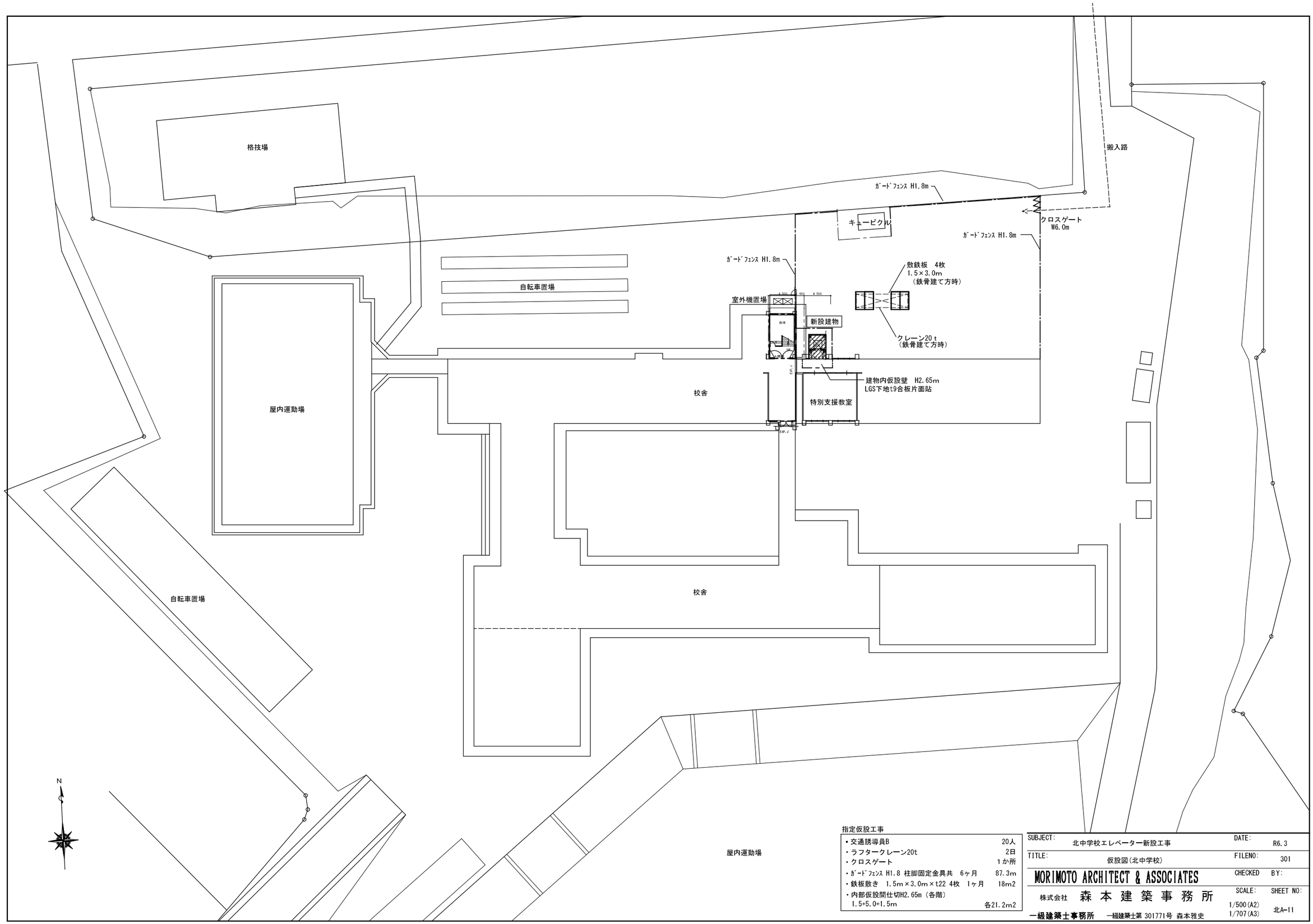


⑥ 床ー床（アルミ材）耐火仕様（2・3FL)アルミISパンションSL-SJ150F

クリアランス	150mm
可動量(X)	+57mm



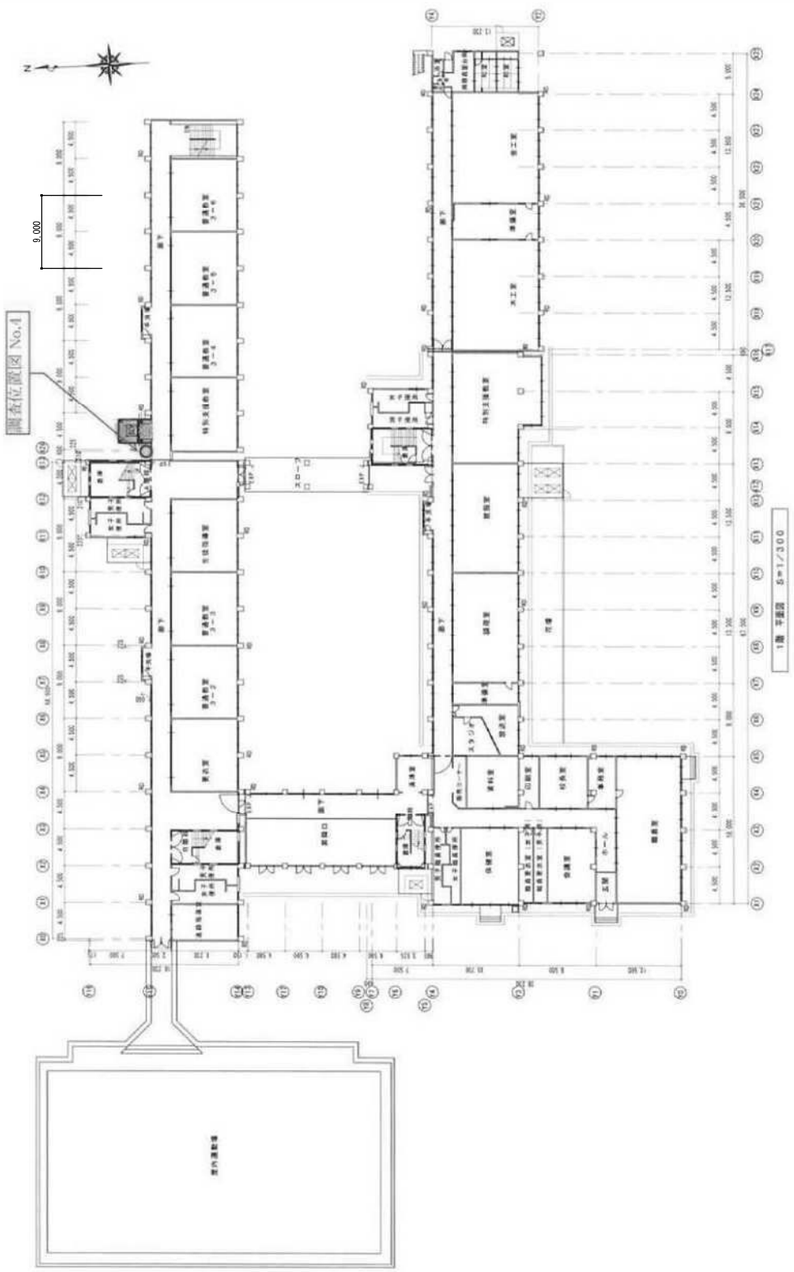
SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	EXP.J 図(北中)	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所	一級建築士第 301771号 森本雅史	1:10他(A2) 1:14他(A3)	北A-10



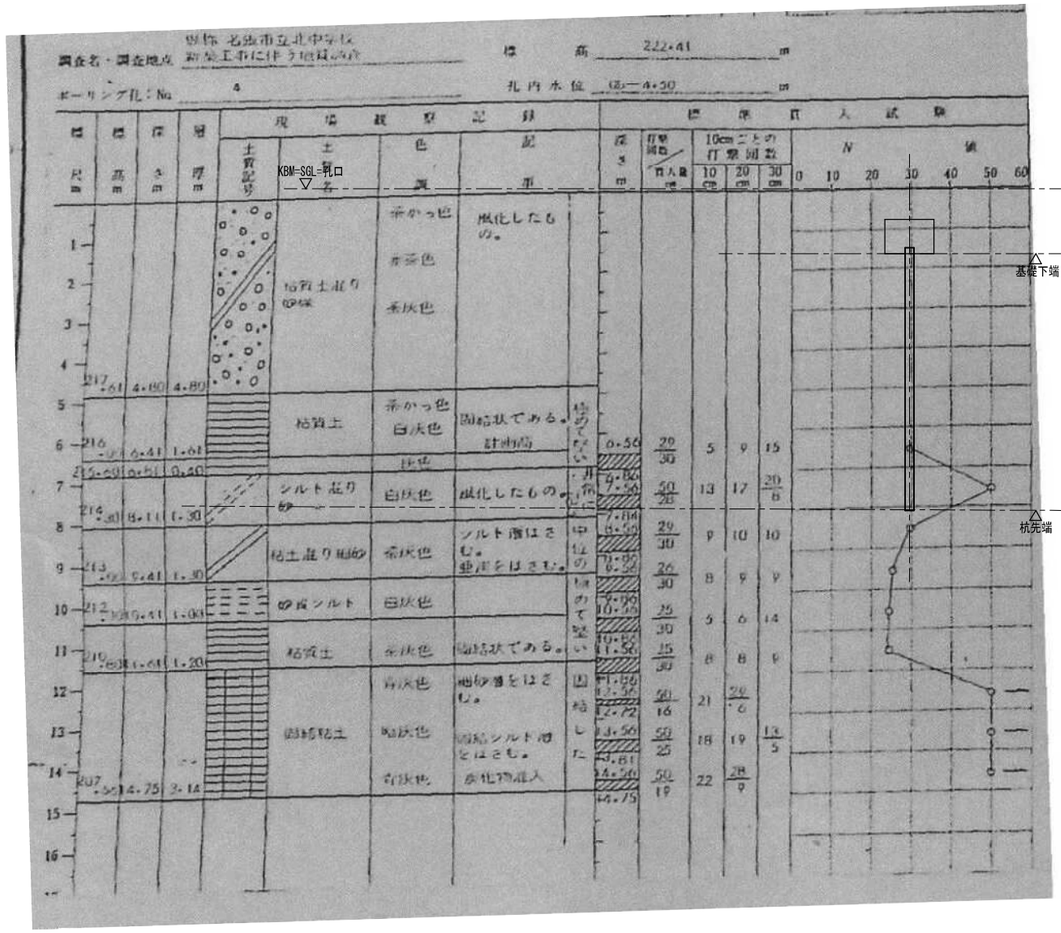
指定仮設工事

・交通誘導員B	20人
・ラフタークレーン20t	2日
・クロスゲート	1か所
・ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H1.8 柱脚固定金具共　6ヶ月	87.3m
・鉄板敷き　1.5m×3.0m×t22 4枚　1ヶ月	18m2
・内部仮設間仕切H2.65m（各階） 1.5+5.0+1.5m	各21.2m2

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	仮設図(北中学校)	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED	BY:
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所	一級建築士第 301771号 森本雅史	1/500(A2) 1/707(A3)	北A-11



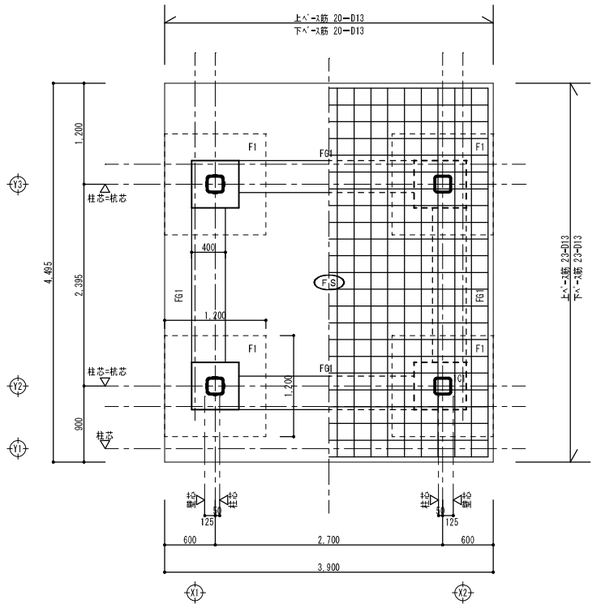
調査位置図　S=1/500



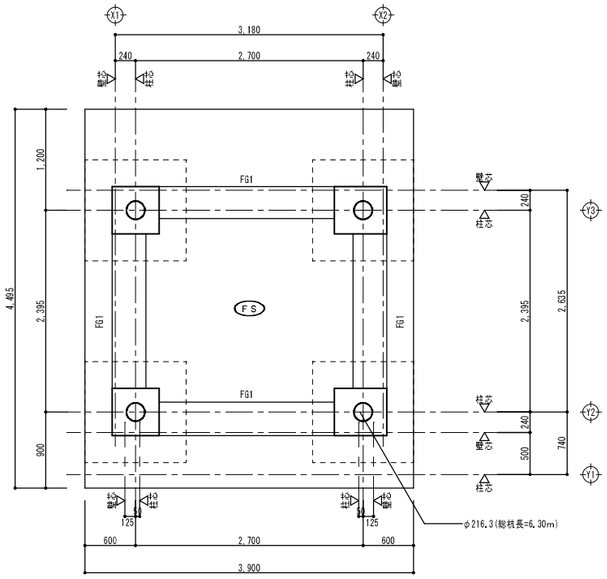
ボーリング柱状図 S=1/100

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事
DATE:	R6.3
TITLE:	ボーリング柱状図（北中学校）
FILENO:	301
CHECKED BY:	
SCALE:	1:100他(A2) 1:141他(A3)
SHEET NO:	北S−01

MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
株式会社 森本建築事務所
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史



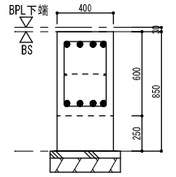
基礎伏図 S=1/50



杭伏図 S=1/50

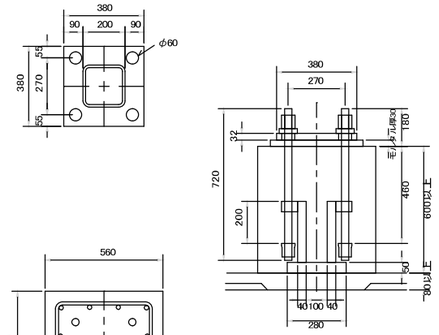
地中梁リスト S=1/30

記号	FG1
断面	全断面
上端筋	4-D19
下端筋	4-D19
ｽﾀﾗｯﾌﾟ	D13@200
腹　筋	2-D10
巾止め筋	D10@1000
備　考	捨てｺﾝ t=50　砕石 t=100



J200-12N

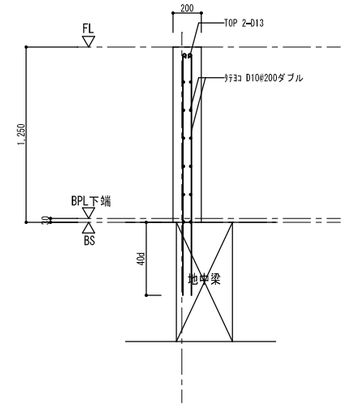
ロックナット　L＝64
定着ナット　L＝64
座金D35　t＝22



フレームポスト
４本タイプL ＝40x40x5

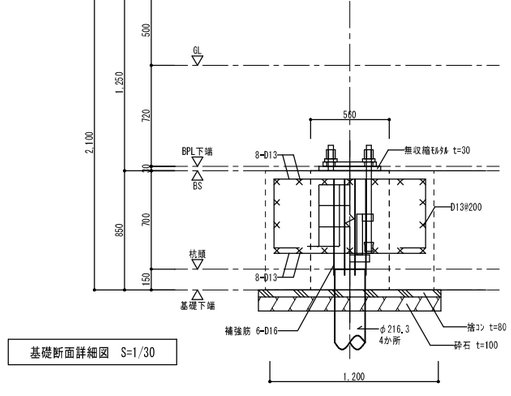
柱材F値	235N/mm2	適用板厚 t ≦12
	295N/mm2	適用板厚 t ≦12
	325N/mm2	適用板厚 t ≦9
ベースプレート		380×380x32(SN490B)
アンカーボルト		4-D35(SD390)　L=720
柱型	BxD	標準：560x560　拡大：560x560～680ｘ680
	主　筋	12-D19(SD345)
	帯　筋	D13@150
回転剛性		30,000(KN･m/rad)
コンクリート設計基準強度		21N/mm2以上30N/mm2以下

初版：R4.10.21	図面名称	柱脚詳細図1-4	図面番号	ＪＢ-ＮＫ200-12-01

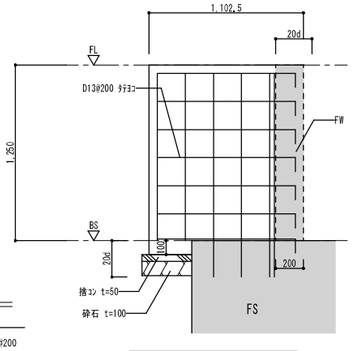


FW(断面詳細図) S=1/30

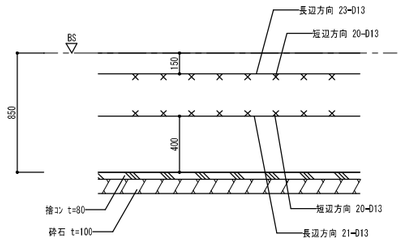
杭仕様	杭本体径	D=	216.3 mm
	杭肉厚	t=	8.2 mm
	杭先端羽根部径	Dw=	550 mm
	羽根厚	ts=	30 mm
	杭長	L=	6.3 m



基礎断面詳細図 S=1/30



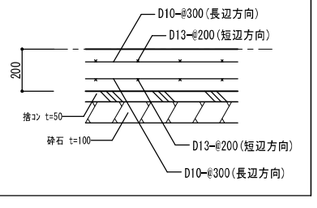
W2(断面詳細図) S=1/30

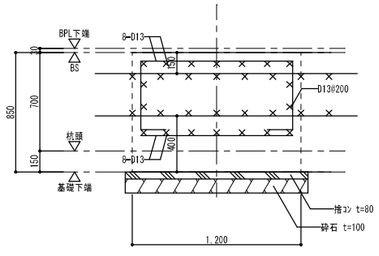


ＦＳ(断面詳細図) S=1/30

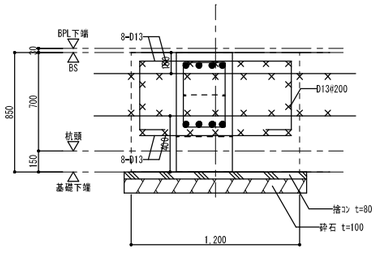
スラブリスト S=1/20

記号	S1
断面	D10-@300(長辺方向) D13-@200(短辺方向) D13-@200(短辺方向) D10-@300(長辺方向)





基礎断面詳細図 S=1/30

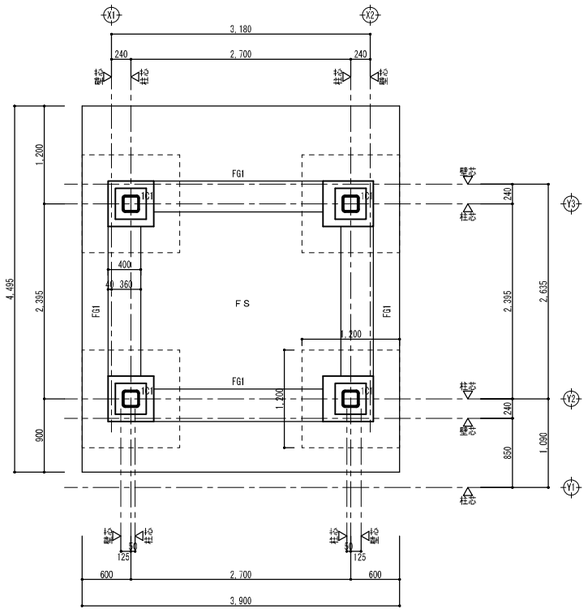


基礎断面詳細図 S=1/30

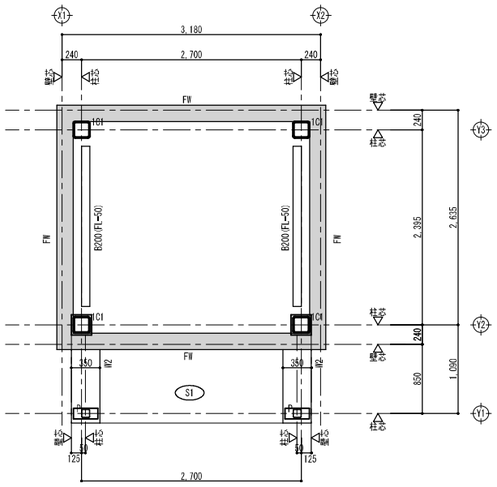
※試験杭は1カ所とする

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事	DATE: R6.3
TITLE: 基礎関係(北中学校)	FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所	SCALE: 1:50他(A2) 1:71他(A3) SHEET NO: 北S-02

一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史

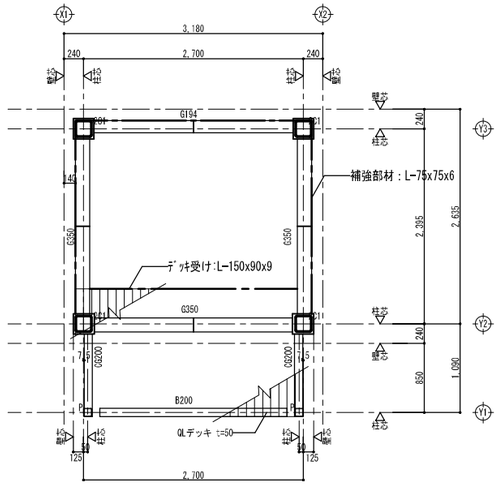


基礎伏図 S=1/50



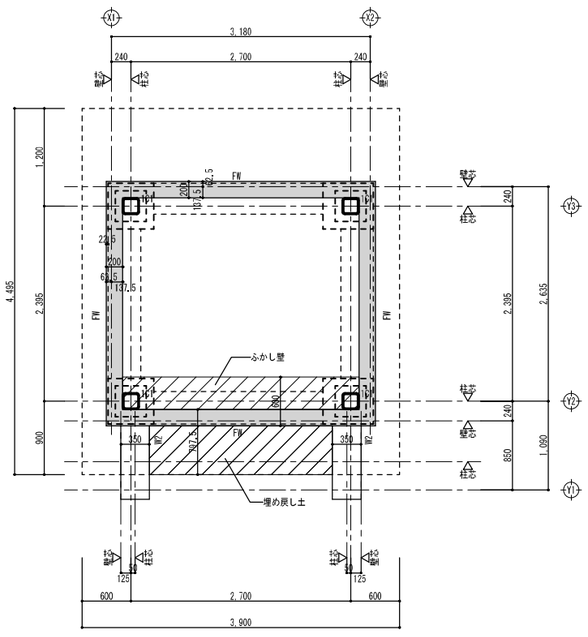
FL伏図 S=1/50

[GL+500]



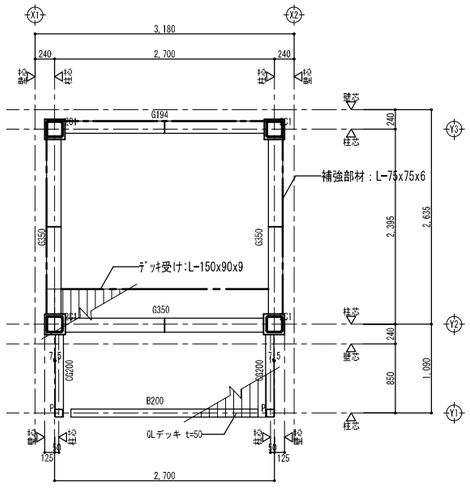
2S伏図 S=1/50

[GL+3,970]



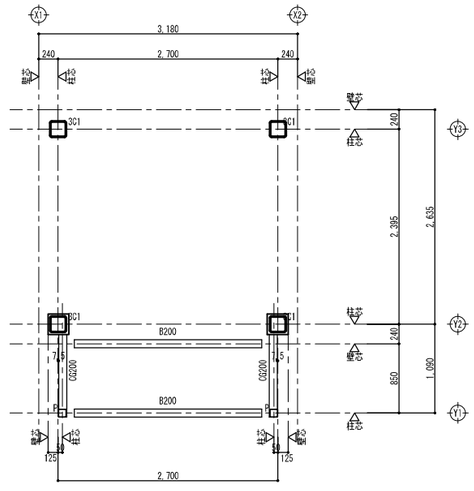
BS伏図 S=1/50

[GL-750]



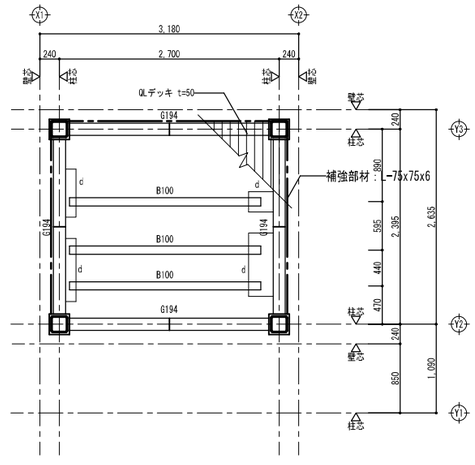
3S伏図 S=1/50

[GL+3,590]



TS伏図 S=1/50

[GL+11,838]



RS伏図 S=1/50

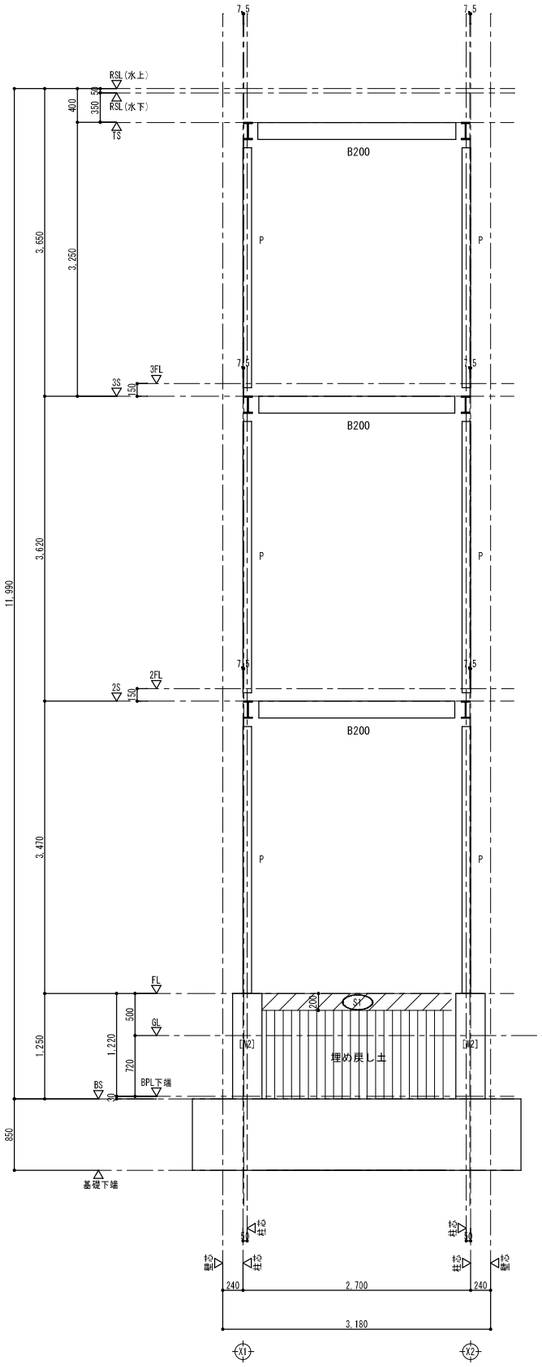
[GL+11,860]

部材リスト

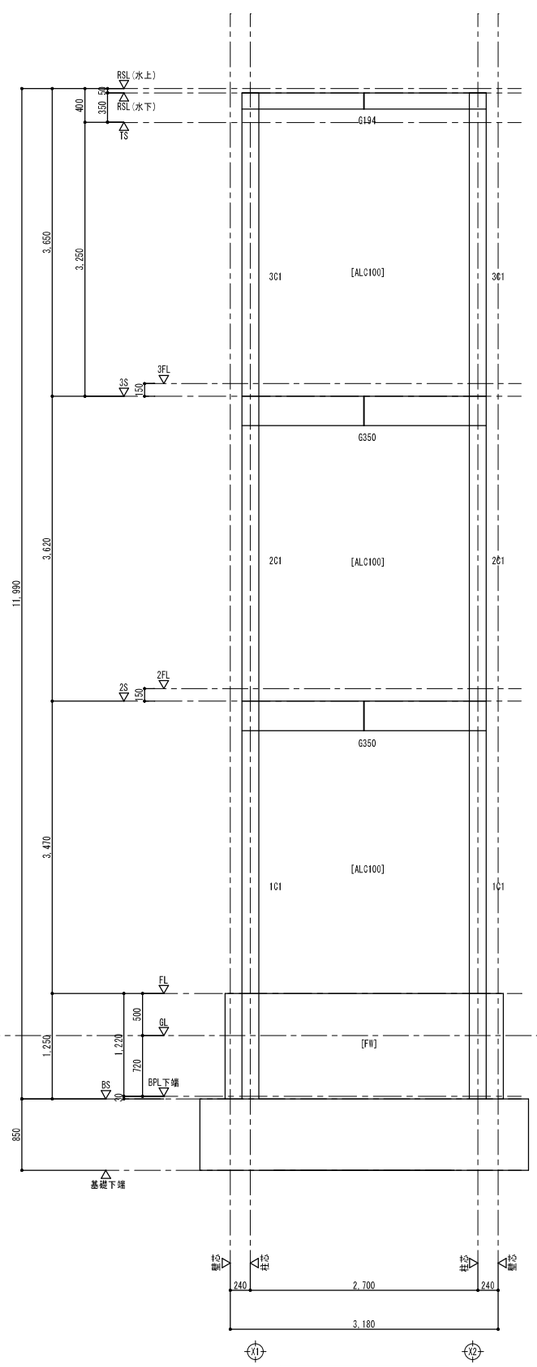
場所	記号	部材リスト		仕口・継手・接合
柱	1C1	□-200x200x12	(BCR295)	ジャストベース：J200-12N
	2C1	□-200x200x9	(BCR295)	
	3C1	□-200x200x9	(BCR295)	
間柱	P	□-100x100x4.5	(STKR400)	JP□100
大梁	G350	H-350x175x7x11	(SS400)	JG350
	G194	H-194x150x6x8	(SS400)	JG194
片持梁	CG200	H-200x100x5.5x8	(SS400)	JCG200
小梁	B200	H-200x100x5.5x8	(SS400)	JB200、JWH200(ピン接合箇所)
	B100	H-100x100x6x8 EV吊材	(SS400)	JB100
その他		補強アングル：L-75x75x6	(SS400)	詳細図による
	d	PL-12	(SS400)	ELV図による

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事
DATE:	R6.3
TITLE:	伏図(北中学校)
FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	
CHECKED BY:	
SCALE:	1:50他(A2) 1:71他(A3)
SHEET NO:	北S-03

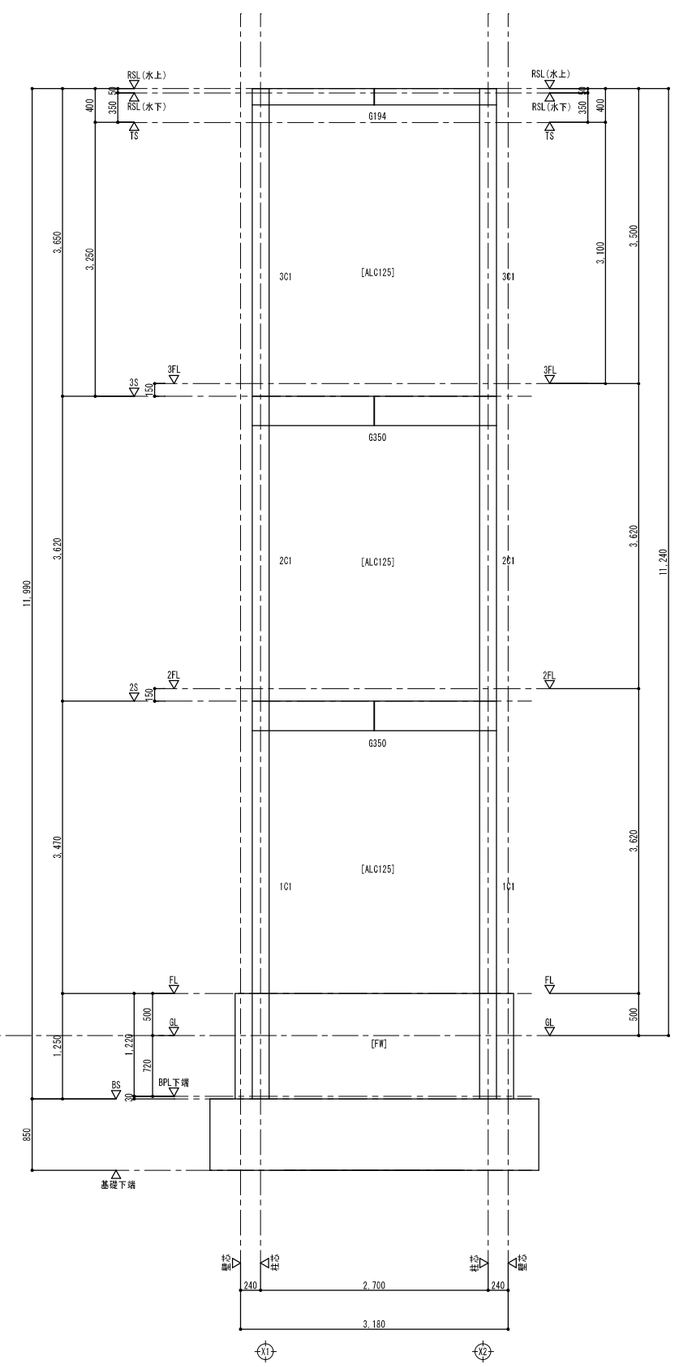
株式会社 森本建築事務所
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史



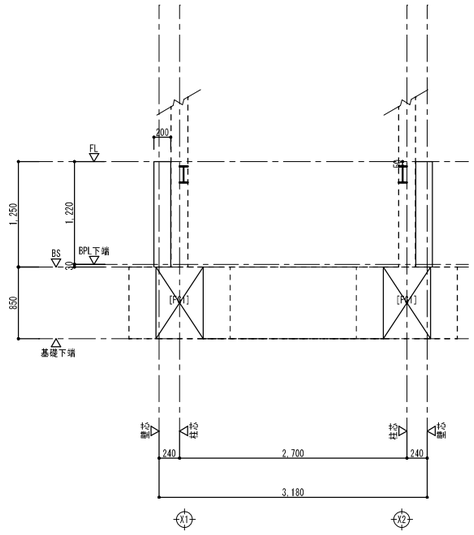
Y1通り軸組図　S=1/50



Y2通り軸組図　S=1/50

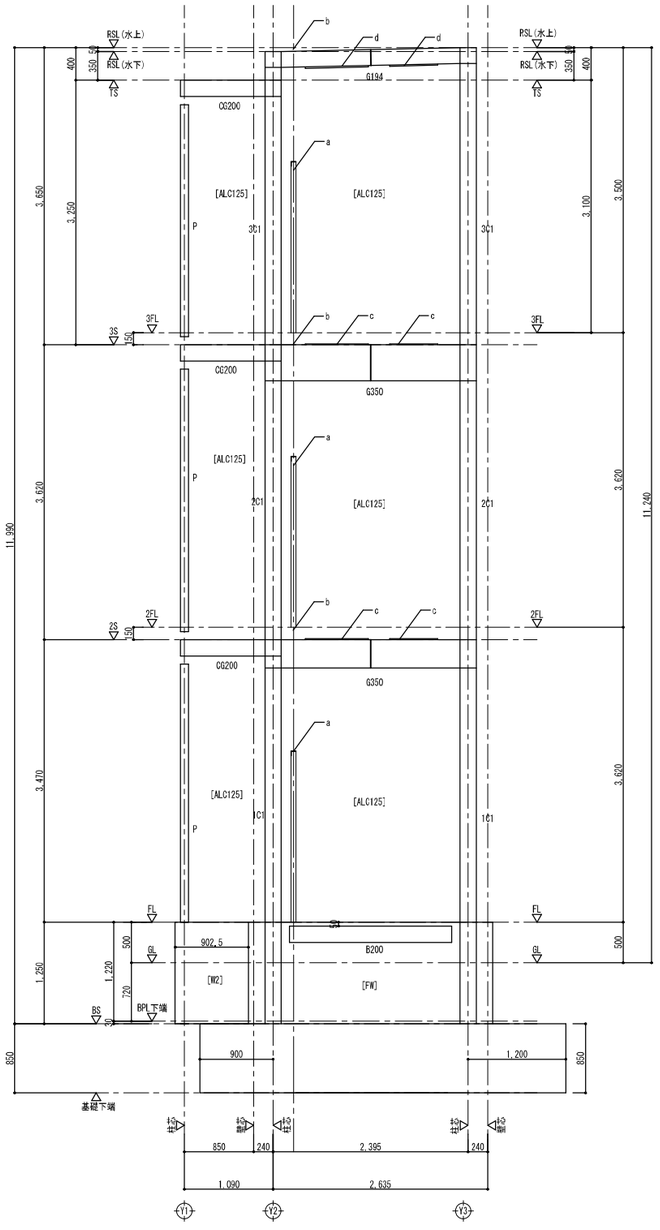


Y3通り軸組図　S=1/50

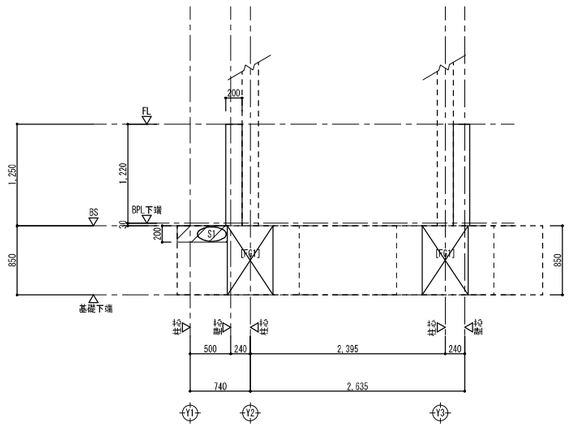


Y通り断面図　S=1/50

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	軸組図①(北中学校)	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史		1:50(A2) 1:71(A3)	北S-04



X1、X2通り軸組図　S=1/50

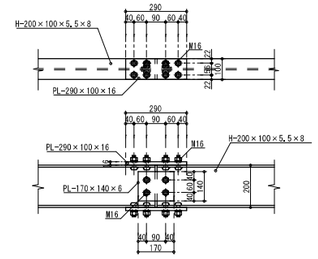
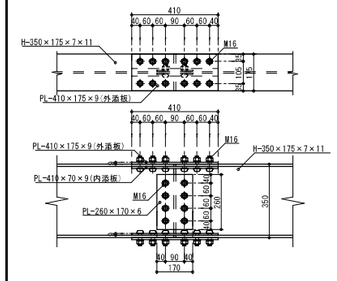
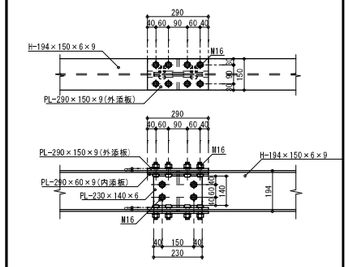


X通り断面図　S=1/50

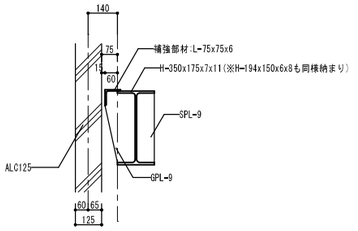
凡例
a　L-65×65×6
b　L-100×100×7
c　PL-12
d　PL-12

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事	DATE: R6.3
TITLE: 軸組図②(北中学校)	FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所	SCALE: 1:20(A2) 1:28(A3)
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史	SHEET NO: 北S-05

大梁継手リスト S=1/20　ボルトは特記無き限り、HTB-F10T　又は　HTB-S10T　とする。　梁鋼種 は、SS400　又は　SN400　に適合する。　鉄骨構造基準接合部委員会　SCSS-H97　に準ずる

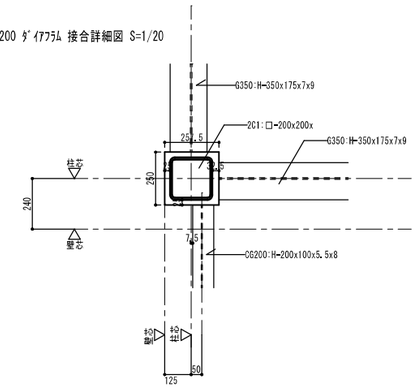
継手記号	JOG200	JG350	JG194
梁サイズ	H-200×100×5.5×8	H-350×175×7×11	H-194×150×6×9
ﾌﾗﾝｼﾞ 添板	PL-290×100×16 (2枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (16本)	外：PL-410×175×9 (2枚)　内：PL-410×70×9 (4枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (24本)	外：PL-290×150×9 (2枚)　内：PL-290×60×9 (4枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (16本)
ｳｪﾌﾞ 添板	PL-170×140×6 (2枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (4本)	PL-260×170×6 (2枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (8本)	PL-230×140×6 (2枚)　ﾎﾞﾙﾄM16 (4本)
姿 図			

・補強アングル接合詳細図 S=1/20



※補強ﾌﾟﾚｰﾄ 2カ所

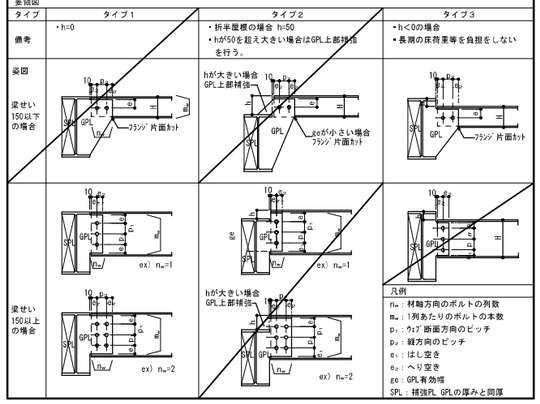
・CG200 ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ 接合詳細図 S=1/20



小梁接合リスト

特記なき限りボルトは、S10T又はF10T、溶融亜鉛メッキを行う箇所はF8Tとする。

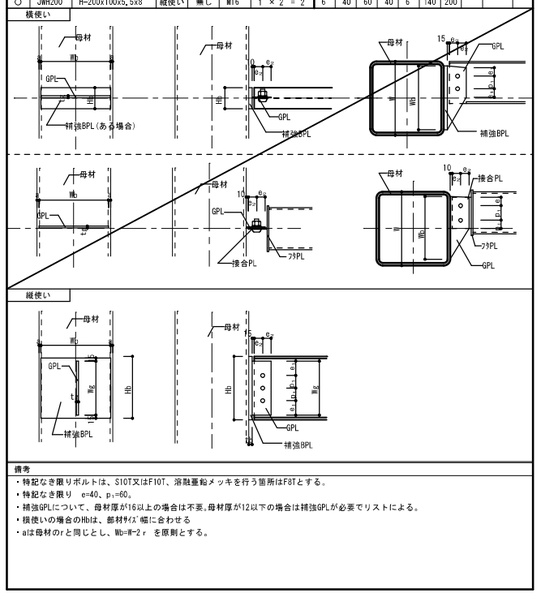
採用	記号	部 材	ボルト 径	nw	mw	総数	GPL	↑↓ e1	↑↓ p1	←→ e2	←→ p2	ﾌﾗﾝｼﾞｶｯﾄ	備 考
○	JS100	H-100x100x6x8	M16	2	× 1	= 2	6	40	ー	40	60	有	タイプ3
○	JS200	H-200x100x5.5x8	M16	1	× 2	= 2	6	40	60	40	ー	有	タイプ1



柱中間部-小梁(耐風梁)　接合リスト

単位は全てmm

採用	記号	部 材	タイプ	ﾌﾗﾝｼﾞｶｯﾄ	ボルト 径	nw	mw	総数	GPL t	e1	p1	e2	補強BPL t	Hb	ｳﾗPL	角型鋼管の場合 接合PL
○	JWH200	H-200x100x5.5x8	縦使い	無し	M16	1	× 2	= 2	6	40	60	40	6	140	200	

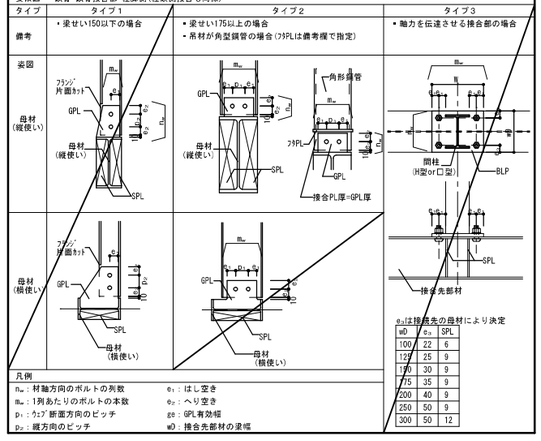


備考
・特記なき限りボルトは、S10T又はF10T、溶融亜鉛メッキを行う箇所はF8Tとする。
・特記なき限り　e=40、p1=60。
・補強GPLについて、母材厚が16以上の場合は不要,母材厚が12以下の場合は補強GPLが必要でリストによる。
・横使いの場合のHbは、部材ｻｲｽﾞ幅に合わせる
・aは母材のrと同じとし、Wb=W-2ｒ を原則とする。

間柱・吊材接合リスト

特記なき限りボルトは、S10T又はF10T、溶融亜鉛メッキを行う箇所はF8Tとする。

採用	記号	部 材	タイプ	ボルト 径	nw	mw	総数	GPL	↑↓ e1	↑↓ p1	←→ e2	←→ p2	ﾌﾗﾝｼﾞｶｯﾄ	備考
○	JP□100	□-100x100x4.5	ﾀｲﾌﾟ 2	M16	2	× 1	= 2	6	40	ー	40	60	有	ﾌﾗPL-6

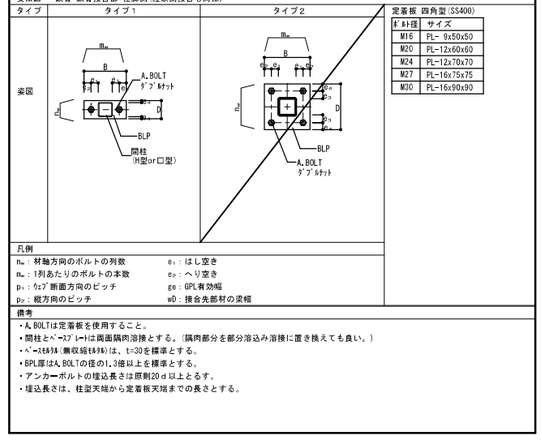


wD	e2	SPL
106	22	6
125	25	9
150	30	9
175	35	9
200	40	9
250	50	9
300	50	12

e2は接合先の母材により決定

間柱 柱脚リスト(地中梁、土間接合)

採用	記号	部 材	タイプ	アンカーボルト 径	nw	mw	総数	材種	BPL e1	e2	e3	e4	材種	備考
○	JP□100	□-100x100x4.5	ﾀｲﾌﾟ 1	M16	2	× 1	= 2	SS400	50	50		15	SS400	BxD=300x130x22



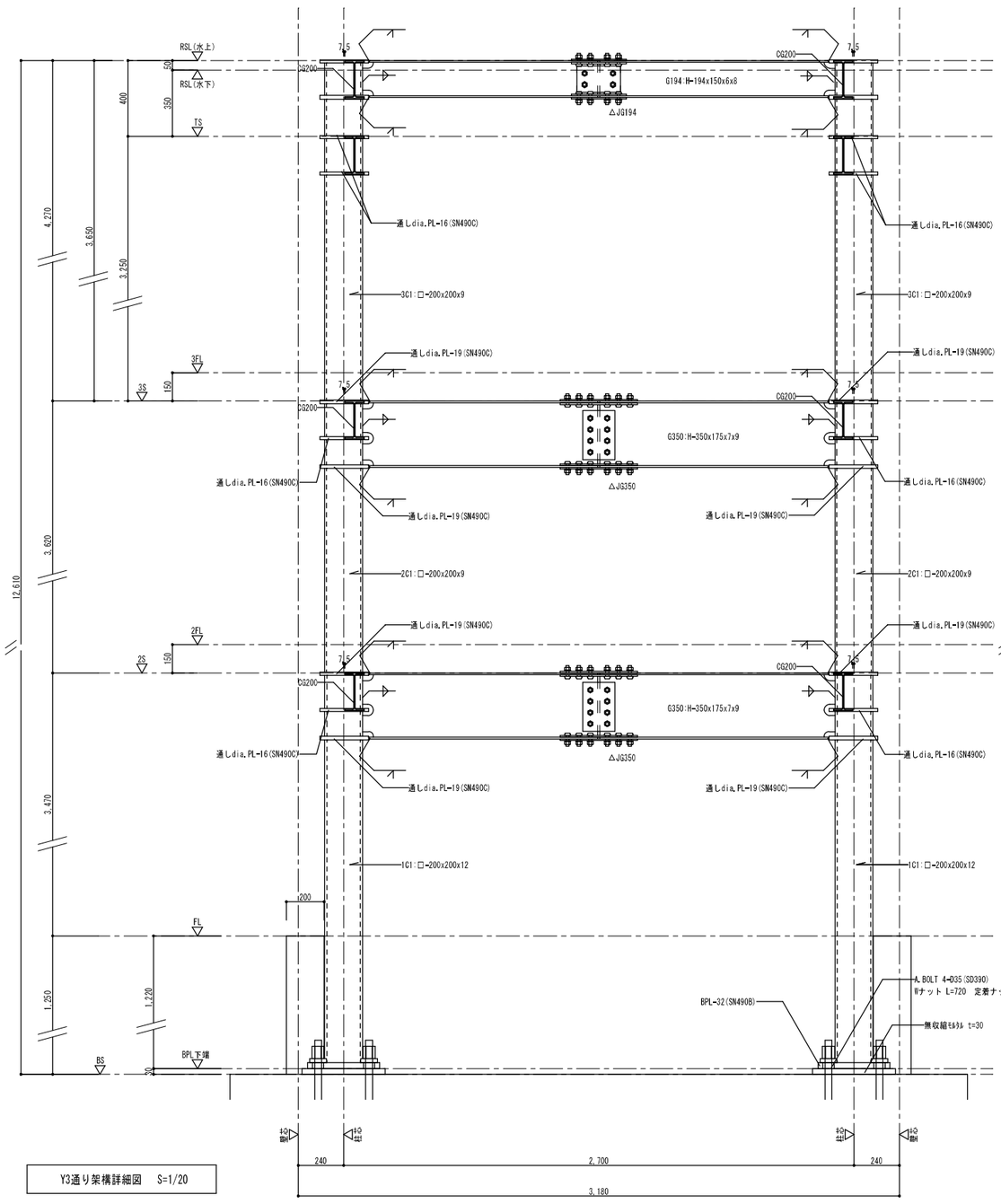
定着板 四角型(SS400)

ﾎﾞﾙﾄ径	サイズ
M16	PL- 9x50x50
M20	PL-12x60x60
M24	PL-12x70x70
M27	PL-16x75x75
M30	PL-16x90x90

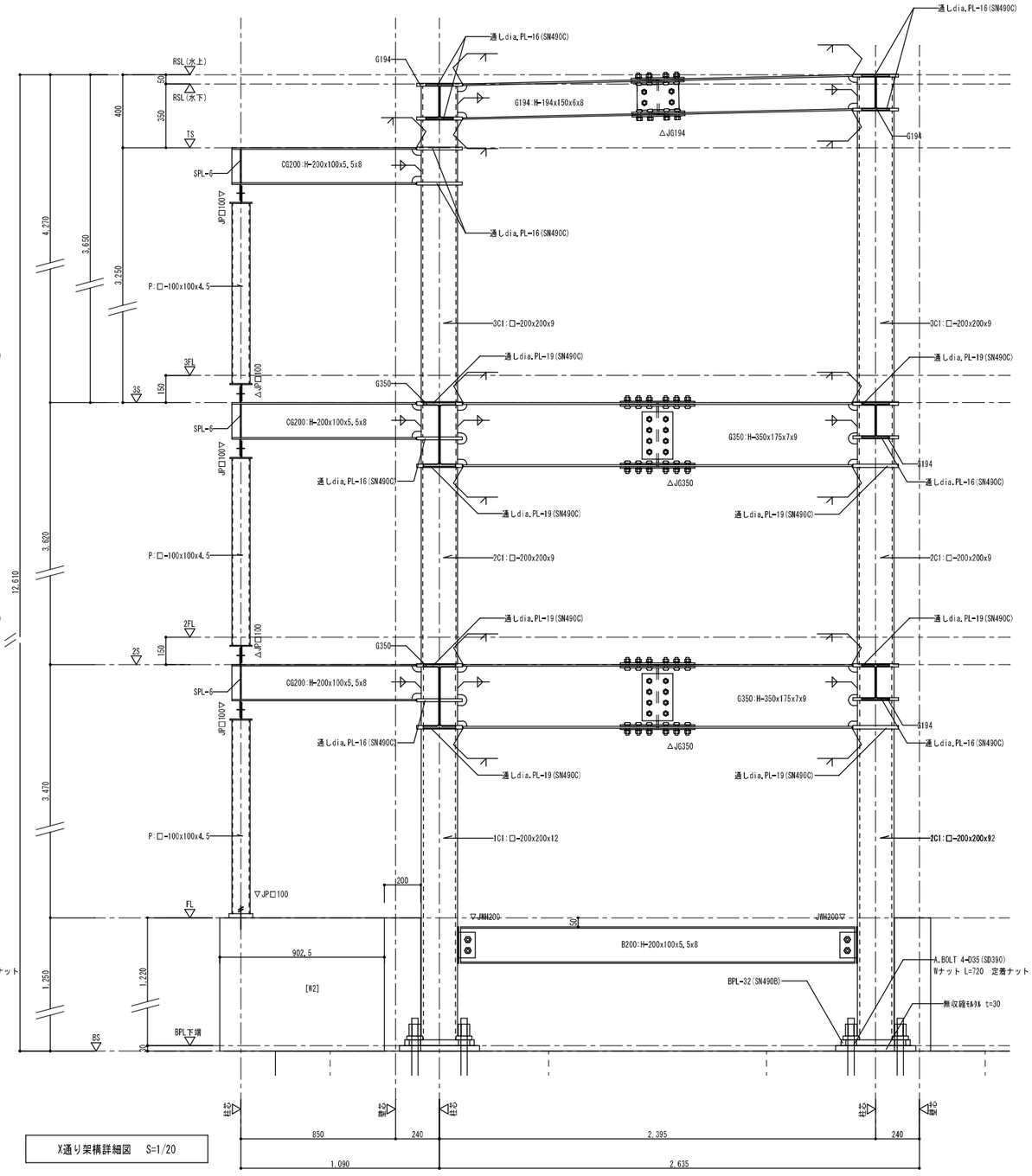
備考
・A,BOLTは定着板を使用すること。
・間柱とﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄは周囲隅肉溶接とする。(隅肉部分を部分溶込み溶接に置き換えても良い。)
・ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ(無収縮ﾓﾙﾀﾙ)は、t=30を標準とする。
・BPL厚はA,BOLTの径の1.3倍以上を標準とする。
・アンカーボルトの埋込長さは原則20ｄ以上とるす。
・埋込長さは、柱芯天端から定着板天端までの長さとする。

一級建築士登録　第143364号
構造設計一級建築士 第4688号　堀口 茂義

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事(北中学校)	DATE: R6.3
TITLE: 接合リスト	FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所	SCALE: 1:50(A2) 1:71(A3)
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史	SHEET NO: 北S-06



Y3通り架構詳細図　S=1/20



X通り架構詳細図　S=1/20

SUBJECT: 中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE: 架構詳細図(北中学校)	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所	SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史	1:20(A2) 1:28(A3)	北S-07

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

２．建物概要

建物名称	構造	階数	床面積（㎡）	消防別表第一	備考
北中学校	RC造	3		7項	

３．工事種別（○印のあるものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別	工事種別				
工事種目	電気				屋外
受変電設備					
発電設備					
電灯設備	○				
動力設備	○				
雷保護設備					
電力貯蔵設備					
構内配電線路					
電話設備					
インターホン設備					
拡声設備					
電気時計設備					
テレビ共同受信設備					
トイレ呼出設備					
火災報知設備	○				
構内通信線路					
映像・音響設備					
監視カメラ設備					
構内ＬＡＮ設備					
その他					

Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成３１年度版）」（以下，「標準仕様書」という），「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備編）（平成３１年度版）」（以下，「改修標準仕様書」という），「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成３１年度版）」（以下「標準図」という）による。

２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書，標準図を適用する。

２．特記仕様

１）項目は番号に○印の付いたものを適用する。ただし，共通事項は全て適用する。

２）記事欄は＊印のものを適用する。

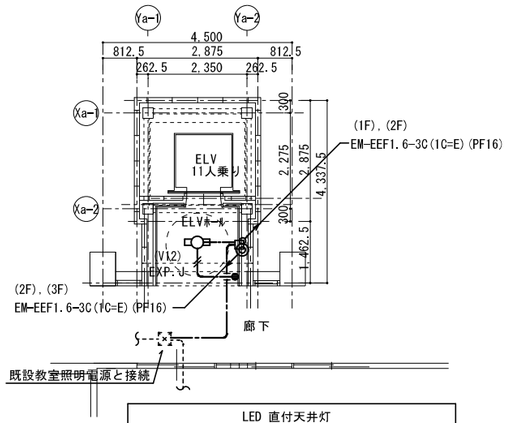
３）ただし＊印の記事で■印がある場合は■印を適用する。

分類	項目	記事
共通事項	1 工事用仮設	＊ 工事区分表による。 ＊ 別契約の関係受注者が定置した足場，残構類は利用できる。
	2 工事用水	構内既存の施設　・ 利用できない（改廃を含み全て受注者の負担とする） ＊ 利用できる　（ ＊ 有償　・ 無償 ） ＊ 工事用水については，敷地内メーター以降にサブメーターを取付け，毎月使用量を監督職員に報告すること。 注）引渡しまでの費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）
	3 工事用電力	構内既存の施設　＊ 利用できない（改廃を含み全て受注者の負担とする） ・ 利用できる　（ ＊ 有償　・ 無償 ） 注）本受電後，引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。（無償の場合は除く）
	4 電気工事士	受電区分　＊ 高圧受電　・ 低圧受電 ＊ 電気工事士法の区分により施工するものとし，契約電力が500kw以上の電気工作物においても第一種電気工事士により施工するものとする。
	5 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は，電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し，電気工作物の保安業務を行うものとする。
	6 電気主任技術者 工事期間中の選任	受電予定日　令和　年　月頃 ・ 要　・ 不要
	7 官公庁その他 手続き	＊ 工事の着工，施工，完成に必要な手続きは全て受注者の責任とし，その費用は受注者の負担とする。
	8 電力等の引込	・ 電力及び電話引込線等の位置及び引止方法については，関連会社と打合せの上，監督職員との協議により決定する。
	9 発生材の処理等	＊ 電気設備特記仕様書「Ｅ０１ 発生材の処理等」による。 ＊ 建築工事特記仕様書「建設廃棄物」による。 ・ PCB使用機器は関係法令により適切に処理し，建物管理者に引渡す。
	10 既設との取り合い	・ 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事に含む。
	11 埋戻し土並び 発生土処理	・ 根切土の中の良質土　・ 山砂類　・ 再生切込砕石（RC-40） ＊ 場内指示場所に敷均し　・ 場内指示場所に堆積　・ 場外搬出適正処理
	12 地中埋設	・ 管の上下５０mmは山砂の類で埋め戻し，３００mm毎に転圧すること。 ＊ 地中配管・配線には標識シート等（２倍）を設ける。
	13 構内配電線路 架空電線	・ 道路(車両の往来がまれであるもの及び歩行の用にのみ供される部分を除く）を横断する場合は路面上6m以上，屋外用照明であって，絶縁電線又はケーブルを使用した対地電圧150V以下のものを交通に支障のないように施設する場合は地表上4m以上，低圧架空電線を道路以外の場所に施設する場合は地表上4m以上，その他の場合は5m以上とし，これによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。
	14 構内通信線路 架空電線	・ 道路を横断する場合は路面上5m以上とする。ただし，交通に支障を及ぼすおそれが少ない場合で工事上やむを得ないときは，歩道と車道との区分がある道路の歩道上においては路面上2.5m以上，その他の道路上においては4.5m以上とする。 上記，道路以外の部分については路面上3.5m以上としこれによりがたい場合は監督職員との協議により決定する。
	15 再使用機器	＊ なし　・ 清掃後、絶縁抵抗を測定する。
	16 完成図書等	工事完成後速やかに提出すること。提出書類はＡ版とする。 ＊ 完成図書　２部　（ファイル綴じ） １．機器取扱い説明書 ２．主要機器図、製作図 ３．機器性能試験成績書 ４．官公署届出書類写し ５．監督職員の指示ある書類 ＊ 竣工図（設計図データの修正図） １．製本（＊原設計サイズ（３部）　＊Ａ３縮小版（４部）） ２．原図（＊原設計サイズ　＊Ａ３縮小版）のトレーシングペーパーを１部 ３．ＣＡＤデータ（.ｄｗｇ形式，.ｄｘｆ形式　又は，.ｊｗｗ形式　）のＣＤを１部 ＊ 施工図 １．製本（＊原設計サイズ（２部）　＊Ａ３縮小版） ２．ＣＡＤデータ（.ｄｗｇ形式，.ｄｘｆ形式　又は，.ｊｗｗ形式　）のＣＤを１部 竣工図は，設計図ＣＡＤデータを訂正し作成すること。また，あらかじめ監理者の確認を受け，データはウィルスチェックを行い提出する。 （データ形式を交換する場合は交換・共有に支障ないことを確認し，交換前のデータも併せて提出する。） ただし，施工図データの提出については監督職員の指示による。 また，これらの著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。
	17 機材等	・ 受変電設備盤の鍵は（　＊ 200番　・ タキゲンA-310-1 or 3）とする。 ・ 受変電設備を除く盤の鍵は（　＊ 200番　＊ タキゲンA-310-1 or 3）とする。 ・ 屋外及び高温多湿箇所の電気盤はＳＵＳ製とする。 ・ 電気盤，機器及び配管等の塗装は（＊ 有　箇所は図示による　＊ 無し） ・ 電気盤，機器及び配管等の塗装色は，監督職員の指示による。 ・ 屋内施工で使用する塗料はＦｘ☆☆☆とする。 ・ 配線器具の位置ボックスは大角型とし，スイッチは（＊ ネーム無　＊ ネーム付）とする。 ・ 配線器具のプレートは，図示なき場合一般は新金属製，和室は樹脂製とする。 ・ フロアボックスのプレートは（・ アルミダイカスト製　＊ 鋼合金製）とする。 ＊ 配管の使用区分は図示なき場合次による。 屋内幹線（隠蔽、打込み）　・・・ＥＰ 屋内幹線（露出）　・・・ＣＰ 屋外（地中）　・・・ＦＥＰ 屋外（露出）　・・・Ｇ、ＨＩＶＥ 屋外（立上り）　・・・ＰＥＧ、ＨＩＶＥ Ｈ-Ｈ～盤　・・・ＦＥＰ、ＨＩＶＥ 屋内分岐（隠蔽、打込み）　・・・ＰＦ 屋内分岐（露出）　・・・ＣＰ、メタルモール 屋内分岐（多湿）　・・・ＨＩＶＥ ＊ 屋内多湿箇所の支持材はＳＵＳ製とする。 ＊ 屋外支持材はＳＵＳ製とする。 ・ 露出配管をサドル止めする場合は両サドルとする。 ・ マンホール，ハンドホール，プルボックス，盤内及びその他要所のケーブルには，合成樹脂製またはファイバ製の表示札，表示シート等を取り付け，回路の種別，行先等を表示する。 ・ 機器を実装しないボックス等には用途表示を行う。 ・ スリーブ施工において外壁の地中部分等水密を要する部分については，スリーブ用止水リングを使用した塩ビ管で施工してもよい。 ・ 建物の仕上げ及び性能に係わる部分の施工については，専門業者で行うものとする。
	18 あと施工ｱﾝｶｰ	・ あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針による。 アンカーの試験方法 ＊ 目視検査　・ 接触検査　・ 打音検査 ・ 非破壊試験　・ 破壊試験 アンカーの試験本数 ・ ※※本　・ 全体の0.5%　＊ 各径につき1ロット3本以上
	19 金属製電線管 の塗装・仕上げ	金属製電線管の塗装は下記による。 ・屋内　＊屋外　・図示　・なし
	20 スリーブ	スリーブの径は，原則として，管の外径(保温厚含む)より４０mm程度大きなものとする。 下記の場合以外は，亜鉛鉄板，つば付鋼管，又は鋼管(SGP-白)とする。 ・ 外壁の地中部分等，水密を要する部分　つば付鋼管，防水鋳鉄管又はゴム系止水材 ・ 地中部分で，水密を要しない部分　ビニル管（ＶＵ） ・ 柱及び梁以外で，開口補強が不要，かつφ200以下の部分　紙製仮枠可能 ・ 既存の有筋コンクリート床，壁等にダイヤモンドカッターを用いて穴あけを行う場合は事前に走査式埋設物調査を行い監督職員に報告すること。
	21 支持間隔	・ 配管の支持間隔は，次による。 種類 / 支持間隔 / 備考 金属管 / 2.0m以下 / ―― 合成樹脂管 / 1.0m以下 / 接続点のそれぞれの近くの箇所（0.3m程度）に設けること。 可とう電線管 / 1.0m以下 ケーブルラック（鋼製） / 2.0m以下 / 直線部以外の接続については接続点及びジョイント箇所の近くの箇所（0.3m程度）に設けること。 ケーブルラック（その他） / 1.5m以下 金属線ぴ（1種） / 1.0m以下 / 線ぴ接続部の両側，付属品の接続部及び線ぴ端部に近い箇所（0.3m程度）に設けること。 金属線ぴ（2種） / 1.5m以下 ・ 土中配管は土間スラブに支持する。
	22 耐震施工	・設備機器の固定は国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針」2014年版による。 施設の分類　・特定の施設　・一般の施設 耐震クラスの適用 耐震クラス / 適用する設備 / 特定の施設 / 一般の施設 S / 受変電設備，無停電装置，直流電源装置，発電設備 / ― A / その他一般設備 / 受変電設備，無停電装置，直流電源装置，発電設備 B / ― / その他一般設備
受変電設備	23 機材の品質	本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他，通常有するべき品質を確認できる機材の試験結果報告書を提出すること。 なお，ＪＩＳ等規格品においては省略することができる。
	24 環境への配慮	＊ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（ｸﾞﾘｰﾝ購入法）に規定される特定関連品目に該当する機材を使用する場合は，その判断の基準，配慮事項を満たすものとする。 ＊ 化学物質を放散する建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板，木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ，構造用ﾊﾟﾈﾙ，集成材，単板積層材，MDF，ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ，その他の木質建材，ｴﾘｱ樹脂，仕上げ塗材は，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材，緩衝材，断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はﾌｪﾉｰﾙ酸ｼﾞｰn-ﾌﾞﾁﾙ及びﾌｪﾉｰﾙ酸ｼﾞｰ2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 5) 1)，3) 及び 4) の建築材料等を使用して作られた家具，書架，実験台，その他什器等は，ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しないか，放散が極めて少ないものとする。 規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない材料使用 d. ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用 e. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料使用 f. 非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用
	25 室内空気中の 化学物質の 濃度測定	室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ，ﾄﾙｴﾝ，ｷｼﾚﾝ，ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ，ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し，監督職員に報告すること。 測定は，パッシブ型採集器により行う。 ・ 測定しない　・ 測定する ・ 図示　測定時期，測定対象室，測定個所数
	1 電気方式	高圧　＊ 三相３線　6.6KV 低圧　＊ 三相３線　210V　・ 単相３線　210/105V
	2 盤形式	・ 屋外キュービクル形　・ その他（　）
	3 主遮断装置	・ LBS形　・ VCB形　・ PF-S形
	4 操作方法	・ 遮断容量　KA ・ 手動式　・ 電気式（　・ 交流　・ 直流）
	5 変圧器	・ 油入形　・ モールド形
	6 設備容量	・ 変圧器容量　KVA ・ 高圧コンデンサー総容量　26.5　Kvar
	7 避雷器	・ 設ける　・ 設けない
	8 接地	・ Ａ種Ｄ種共用　・ Ａ種単独　・ 単独　・ 供用 ・ 避雷接地極は単独とする。 ・ 接地埋設位置近くに接地埋設標を設ける。
	9 接地用端子箱	・ 設けない　・ 設ける
	10 換気扇	・ 設けない　・ 設ける
	11 基礎及びﾌｪﾝｽ	・ 別途工事（フェンス）　・ 本工事（基礎）
	12 その他	・ 消防庁告示第７号準拠品　・ 鈴鹿市火災予防条例準拠品
発電設備	1 形式	・ キュービクル形　・ オープン形
	2 発電機	高圧　・ 三相３線　6.6KV 低圧　＊ 三相３線　210V　・ 単相３線　210/105V
	3 原動機	・ 定格出力　KW 種類　・ ディーゼル発電装置　・ ガスタービン発電装置 始動方式　・ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水箱環式
	4 燃料	種類　・ 軽油　・ 重油　・ 灯油 ・ 小出槽　KL ・ 地下貯油槽　KL　＊ 別途工事　・ 本工事 ）
	5 基礎及びﾌｪﾝｽ	・ 別途工事　・ 本工事
	6 太陽光発電装置	・ 太陽電池アレイ　＊ パワーコンディショナ　＊ 系統連系保護装置　＊ 接続箱 ＊ 系統連携　（＊ 有り　＊ 無し　）
	7 その他	・ 搭載タンクの燃料は，満タンにて引き渡しとする
電灯設備	1 電気方式	幹線　＊ 単相３線式　210/105V 分岐　＊ 単相２線式　105V ＊ 単相２線式　210V
	2 分電盤	・ 埋込型　＊ 露出型　（ ＊ ドアあり　＊ ドアなし ）
	3 ｺﾝｾﾝﾄ	・ アップコン　・ 収納式（上下可動）　・ 固定式
	4 非常用照明器具	・ 電池内蔵型　＊ 電池別置型
	5 照明用ボール	・ 配線用遮断器　・ カットアウトスイッチ
	6 照度測定	・ 各居室 50m2に10か所程度 ・ 学校環境衛生の基準に基づく ・ 監督職員の指示による。
	7 その他	・ 分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を収納する。
動力設備	1 電気方式	幹線　＊ 三相３線式　210V 分岐　＊ 三相３線式　210V
	2 制御盤	・ 充電部に感電防止の処置を施す。
	3 手元開閉器	・ 鋼製　・ 樹脂製
	4 その他	・ 別途機器への接続は本工事とする。 ・ 分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を収納する。
雷保護設備	1 受雷部	・ 突針　・ 棟上げ導体　・ 架空線式
	2 避雷導線	・ 銅より線　・ 銅帯　・ 建築構造体利用
	3 接地極	・ 単独　・ 建築構造体利用
	4 接地用端子箱	・ 真鍮製　・ ステンレス製
	5 内部雷保護	・ 行う
電力貯蔵設備	1 直流電源装置	・ 整流装置（　）・ 蓄電池（　）
	2 ＵＰＳ	・ 常時インバータ給電方式　・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式
	3 電力平準化用蓄電池	・ リチウムニ次電池　・ 鉛蓄電池 ・ ニッケル水素蓄電池
構内配電線路	1 配線方式	・ 地中管路式　・ 架空線式
	2 地中線路の余長	・ マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
	3 地中線保護材料	・ 波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）
	4 電柱等立上り部	・ 耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ） ・ ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（ＧＬＴ）
	5 高圧気中開閉器	・ 耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ） ・ 耐塩型　・ 重耐塩型 ・ 地絡保護　・ 過電流地絡保護　・ 過電流方向性地絡保護
	6 装柱器材	・ 一般型　・ 耐塩型（ケーブル末端処理材共）
	7 外灯接地	・ 単独　・ 共用（ケーブル1芯線使用）
	8 外灯の点滅方式	・ 手動　・ 自動（ ・ タイマー　・ 光電式自動点滅器）
	9 土工事	・ 埋設深さ（ ・ 1.2m以上　・ 0.9m以上　・ 0.6m以上　・ 0.3m以上） ・ 埋設配管、埋戻しの際30cm毎に転圧すること。
電話設備	1 工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 接地工事
	2 機種	・ 一般電話機　・ 多機能電話機　・ ＩＰ電話機 ・ デジタルコードレス電話機　・ ＩＰコードレス電話機
インターホン設備	1 電気方式	・ ＡＣ　・ ＤＣ
	2 機種	・ 電話型親機　・ スピーカ型親機 ・ 電話型子機　・ スピーカ型子機
	3 通話方式	・ 親子式　・ 相互式 ・ 同時式　・ 交互式
拡声設備	1 増幅器	・ 種類（　・ 一般放送用　・ 非常放送用　・ 併用　＊非常用リモコン ） ・ 形式（　・ 卓上型　・ 壁掛型　・ ｷｬﾋﾞﾈｯﾄﾗｯｸ型　・ ﾃﾞｽｸ型 ） ・ 定格出力　９０Ｗ　・ 性能　級 ・ 付加機能（　・ コールサイン　・ モニター ・ リモコンマイク　・ マイク入力６回路 ・ 出力スイッチボード　５回路　）
	2 マイクロホン	・ 増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。 ・ ダイナミック形（単一指向性） ・ ワイヤレス式　（＊ 電波式　（　・ アナログ方式　＊ デジタル方式 ） （　・ 赤外線式 ） ・ マイクスタンド（　＊ 卓上形　＊ 床上形 ） ・ 延長コード（　Ｍ）
電気時計設備	1 親時計	・ 水晶式　型　回路　精度　級 ・ 時報器　（　・ プログラムタイマー　・ チャイム　） ・ 時刻補正　（　・ 標準電波　・ タイムサーバ　）
	2 子時計	・ 埋込形　・ 壁掛形　・ スピーカ付
	3 体育館用時計	・ アナログ　・ デジタル
テレビ共同受信設備	1 受信方法	・ ＣＡＴＶ　・ アンテナ
	2 同軸ケーブル	・ 発泡ポリエチレン絶縁同軸ケーブル（ＥＭ－ＦＢ）
	3 アンテナ	・ ＡＵ－１形　・ ＡＵ－２形
	4 アンテナ支持	・ 側面　・ 自立
	5 増幅器	・ ＵＶ－１　・ ＵＶ－２　＊ ＣＡＴＶ－１
	6 電界強度測定	・ 要　・ 不要
	7 電波障害調査	・ 事前調査ポイント　箇所　・ 事後調査ポイント　箇所
トイレ呼出設備	1 電気方式	・ ＡＣ　・ ＤＣ
	2 表示盤	・ 窓数　１　窓
	3 発信機	・ 埋込形　・ 露出形 ・ 防水
	4 通話機能	・ 要　＊ 不要
	5 その他	・ 同一室内に取付ける電鈴、ブザーの音色は異なるものとする。
火災報知設備	1 火災報知装置	・ 受信機 Ｐ型　１級　４０回線 ＊ 壁掛形　・ 自立形　・ 単独　＊ 総合防災盤組込 ・ 副受信機　窓 ・ 非常放送連動付 ・ 光警報装置
	2 非常警報装置	・ 一体型　・ 単独
	3 ｶﾞｽ漏れ警報装置	・ 受信機　級　回線　・ ＬＰｶﾞｽ用　・ 都市ｶﾞｽ用 ・ 壁掛形　・ 自立形　・ 単独　＊ 総合防災盤組込 ・ 検知器　・ プラグ式　・ 固定式
	4 その他	・ 防犯設備も含む　・ 非常通報設備も含む
構内通信線路	1 配線方式	・ 地中管路式　・ 架空線式
	2 地中線の余長	・ マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
	3 地中線保護材料	・ 波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ） ・ 耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ）
	4 電柱等立上り部	・ ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（ＧＬＴ） ・ 耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ）
	5 土工事	・ 埋設深さ（ ・ 1.2m以上　・ 0.9m以上　・ 0.6m以上　・ 0.3m以上） ・ 埋設配管、埋戻しの際30cm毎に転圧すること。
その他		

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事
DATE:	R6.3
TITLE:	特記仕様書　（北中学校）
FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	
CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所	
SCALE:	N・S(A2) N・S(A3)
SHEET NO:	北E-01

一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史

1～3階　平面図　S:1/100



LED 直付天井灯	
V12	LED 13W 以下　1,500lm以上1,800lm以下

使用場所	
品　番	LSS10-2-15

1・特記なき配管配線は下記による。

――――－――――　：EM-EEF1.6-3C(1C=E)

――――//――――　：EM-EEF1.6-2C(PF16)

二重天井内はｹｰﾌﾞﾙころがしとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。

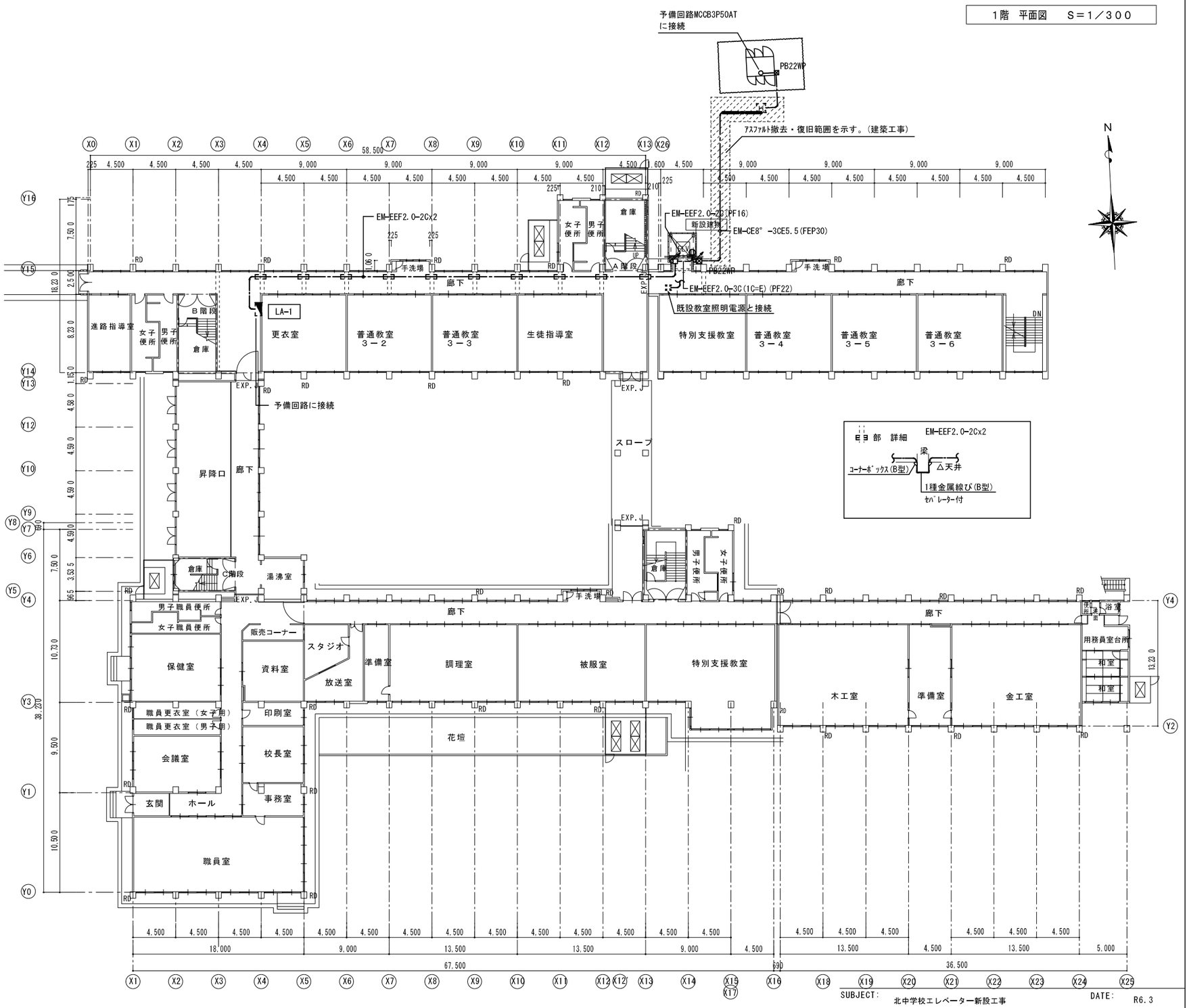
凡例

記　号	名　称	備　考
◥	電灯盤	既設
▭	LED照明器具　直線型	
●	ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ　1P15Ax1	

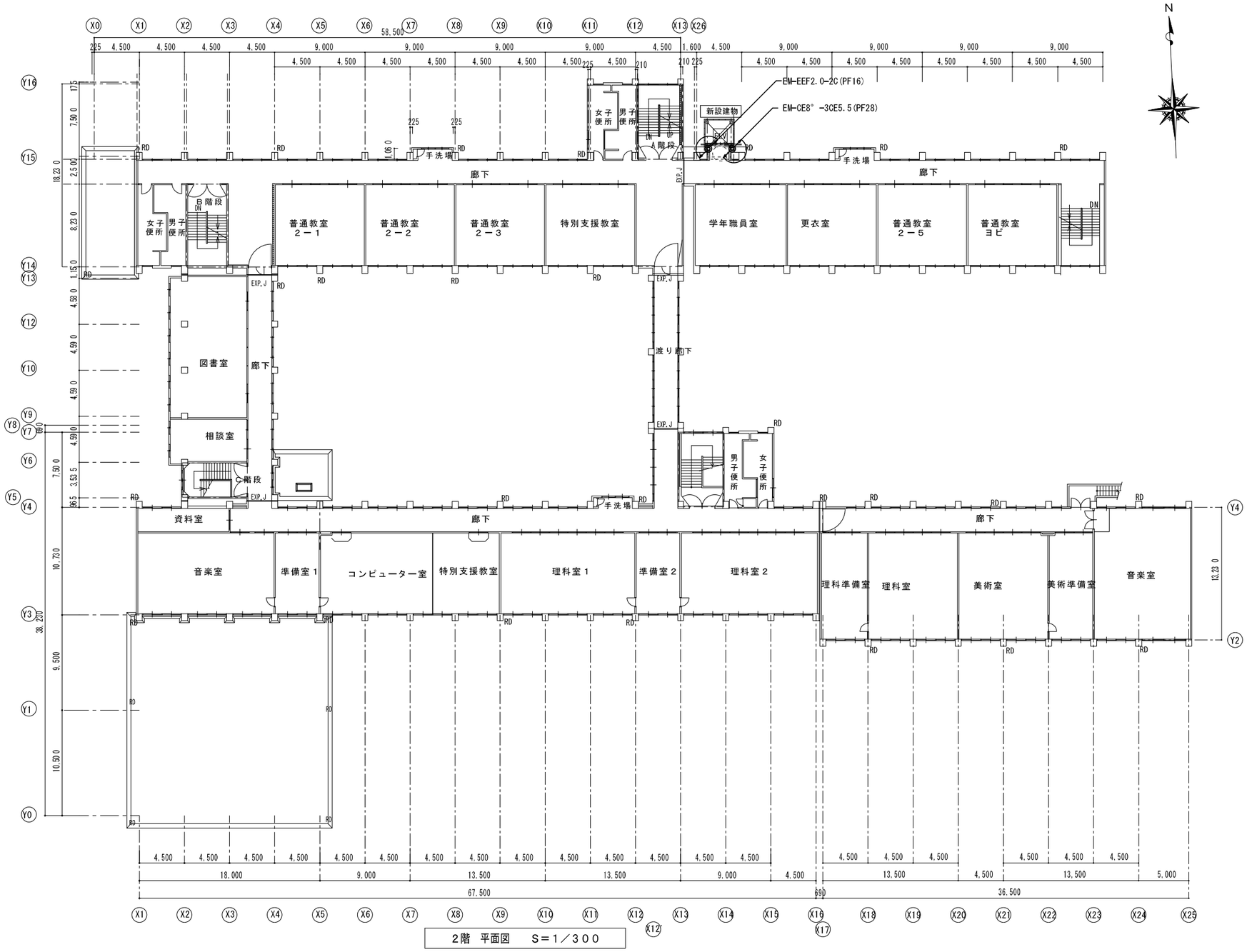
凡例

記　号	名　称	備　考
◥	電灯盤	既設
⊖	ｺﾝｾﾝﾄ2P15Ax1	
／ ／	配管立下げ,上げ,素通し	床面区画貫通処理
■F30WP	ﾌﾚｷ使用箇所	防水
■貫	貫通箇所	ｺｱ抜き
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
PB22WP	200x200x200	SUS・防水
PB32WP	300x300x200	SUS・防水
∷	点検口	既設

1階　平面図　S＝1／300



SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	1階平面図(ELV電源設備)(北中学校)	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史		1/300(A2) 1/424(A3)	北E-02



2階 平面図 S＝1／300

■ 階高

RFL	GL+11,390	―――防火区画
3FL	GL+7,740	
2FL	GL+4,120	
1FL	GL+500	

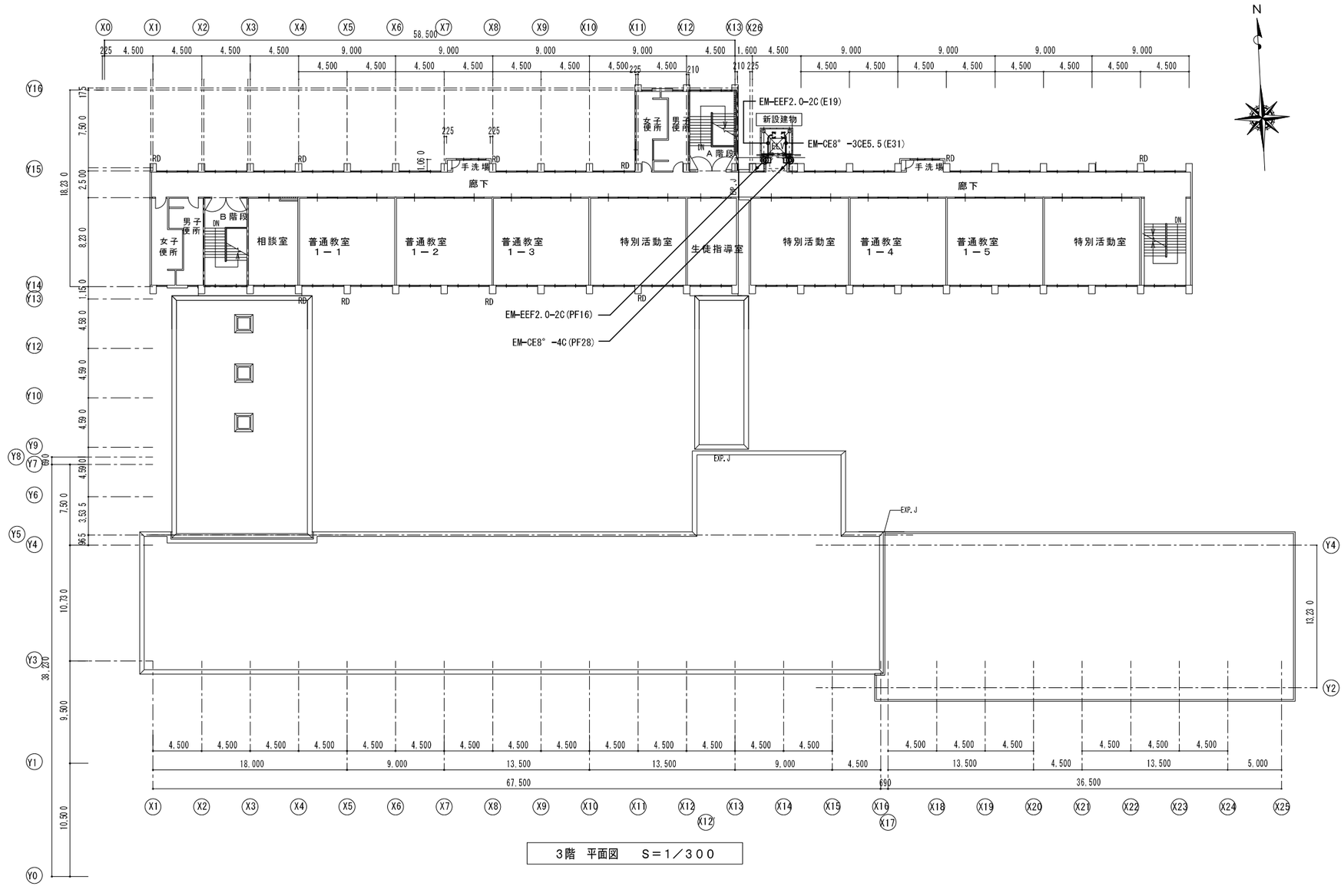
SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事　DATE: R6.3

TITLE: ２階平面図(ELV電源設備)　(北中学校)　FILENO: 301

MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES　CHECKED BY:

株式会社 森本建築事務所　SCALE: 1/300(A2) 1/424(A3)　SHEET NO: 北E-03

一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史



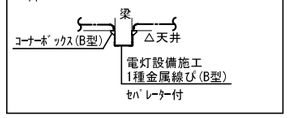
3階　平面図　S＝1／300

■ 階高

RFL	GL+11,390	―――防火区画
3FL	GL+7,740	
2FL	GL+4,120	
1FL	GL+500	

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事
DATE: R6.3
TITLE: 3階平面図（ELV電源設備）（北中学校）
FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所
SCALE: 1/300(A2) 1/424(A3)
SHEET NO: 北E-04
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史

E3 部 詳細



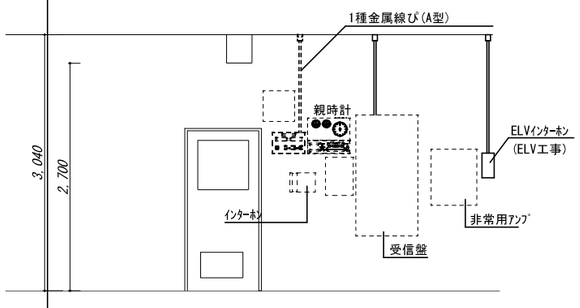
CPEVO.9-5P(PF16) ELVインターホン
EM-HP1.2-2C (PF16) 放送
ICTO.5-1P (PF16) TEL
EM-HPO.9-4C(PF16) 火報

N

屋内運動場

凡例

記号	名称	備考
	光電式スポット型感知器2種	点検口付
	ELVインターホン	ELV工事
	自火報受信盤	既設



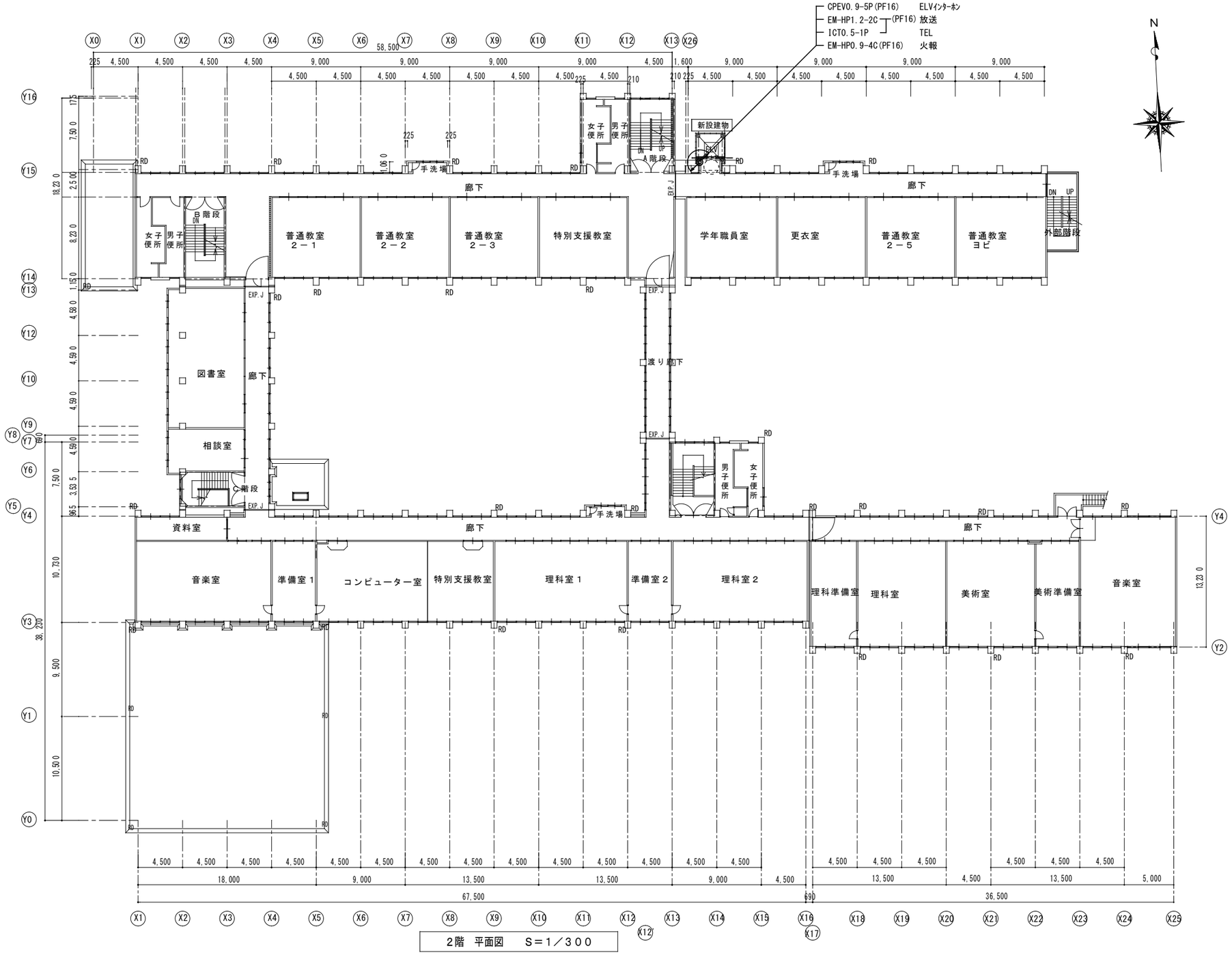
職員室 表示器取付部 詳細 S:1/50

1階 平面図 S=1/300

■ 階高

RFL	GL+11,390	---防火区画
3FL	GL+7,740	
2FL	GL+4,120	
1FL	GL+500	

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事
DATE: R6.3
TITLE: 1階平面図(弱電・自動火災報知設備)(北中学校)
FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所
SCALE: 1/300(A2) 1/424(A3)
SHEET NO: 北E-05
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史

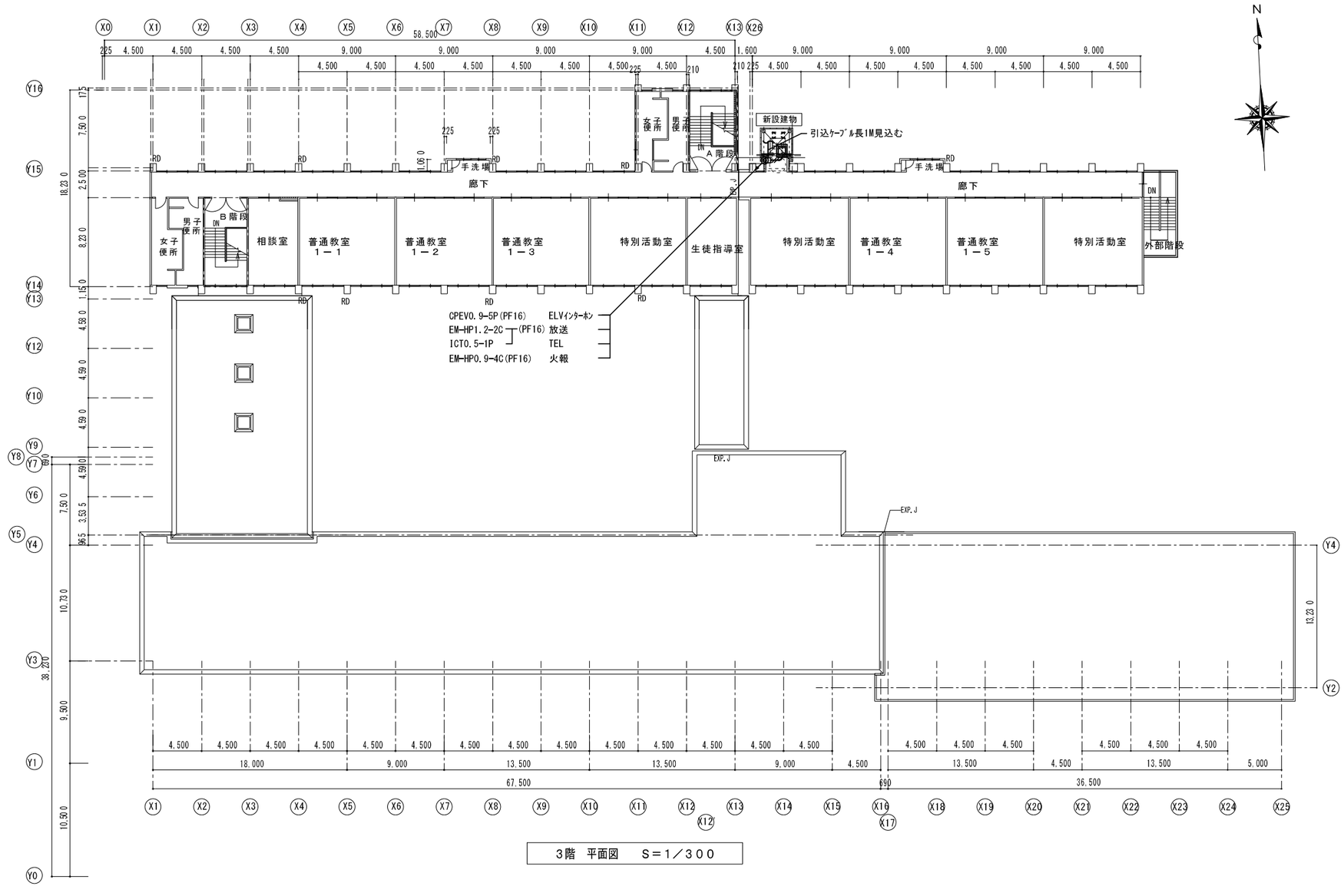


2階　平面図　S＝1／300

■ 階高

RFL	GL+11,390	---防火区画
3FL	GL+7,740	
2FL	GL+4,120	
1FL	GL+500	

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事
DATE: R6.3
TITLE: 2階平面図（北中学校）
FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所
SCALE: 1/300(A2) 1/424(A3)
SHEET NO: 北E-06
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史

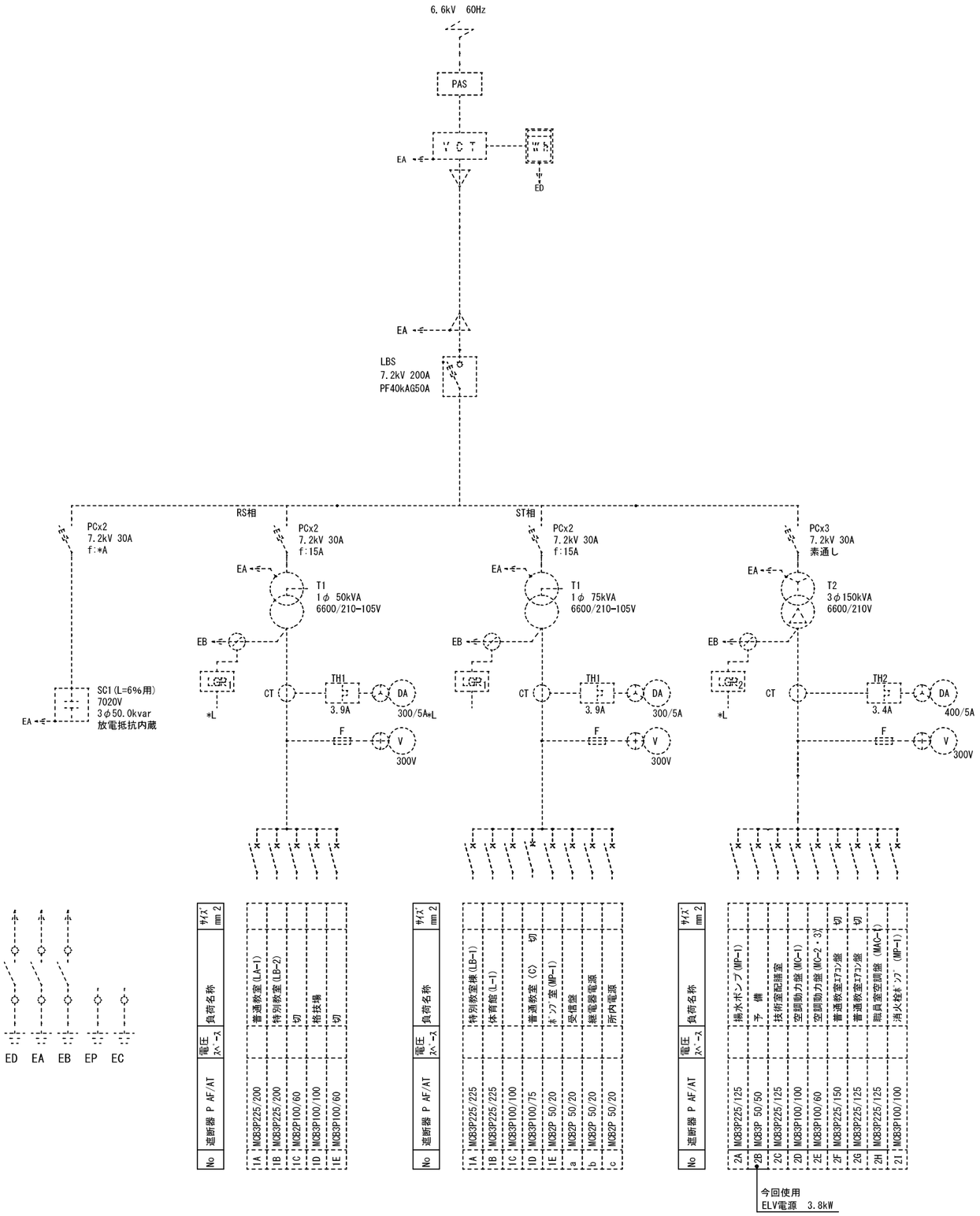


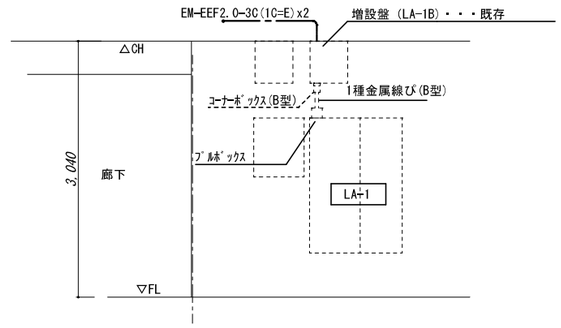
3階　平面図　S＝1／300

■ 階高

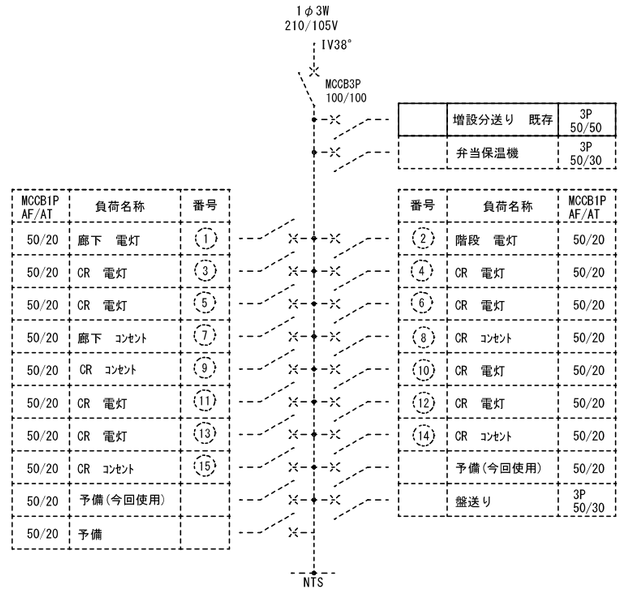
RFL	GL+11,390	―――防火区画
3FL	GL+7,740	
2FL	GL+4,120	
1FL	GL+500	

SUBJECT: 北中学校エレベーター新設工事
DATE: R6.3
TITLE: 3階平面図(弱電設備・自動火災報知設備)(北中学校)
FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所
SCALE: 1/300(A2) 1/424(A3)
SHEET NO: 北E-07
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史





LA-1 1階



MCCB1P AF/AT	負荷名称	番号
50/20	廊下 電灯	1
50/20	CR 電灯	3
50/20	CR 電灯	5
50/20	廊下 ｺﾝｾﾝﾄ	7
50/20	CR ｺﾝｾﾝﾄ	9
50/20	CR 電灯	11
50/20	CR 電灯	13
50/20	CR ｺﾝｾﾝﾄ	15
50/20	予備(今回使用)	
50/20	予備	

番号	負荷名称	MCCB1P AF/AT
2	階段 電灯	50/20
4	CR 電灯	50/20
6	CR 電灯	50/20
8	CR ｺﾝｾﾝﾄ	50/20
10	CR 電灯	50/20
12	CR 電灯	50/20
14	CR ｺﾝｾﾝﾄ	50/20
	予備(今回使用)	50/20
	盤送り	3P 50/30

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事
DATE:	R6.3
TITLE:	高圧受変電設備 単線結線図・分電盤ﾘｽﾄ(北中学校)
FILENO:	301
	MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:	
	株式会社 森本建築事務所
SCALE:	1/50(A2) 1/71(A3)
SHEET NO:	北E-08

一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史

機械設備工事特記仕様　（○印を付けたものを適用する。）

建築概要

工事名称　北中学校エレベーター新設工事

工事場所　名張市　**薦原中村**　地内

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	備考
中学校	RC造	3階		

一般事項

適用仕様書	・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ◎国土交通大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書最新版（但し機器類は除く）
優先順位	1．現場説明事項、質疑応答書 2．本特記仕様書 3．設計図書 4．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。
耐震基準	日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。

特記事項

- 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示板、埋設シートを布設する。
- 重量機器及び器具は吊りボルトにて堅固に取り付けること。
- 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。
- ◎防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基ずく材料を使用すること。
- 建物導入配管（給水、ガス、消火）は充分な可撓装を有する変位吸収配管施工をおこなう。
- 水密を要する部分の配管貫通部は適正な止水処理を行う事。
- 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。
- 振動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径６５φ以上の配管には、防振吊り金物又は防振支持金物を設けるものとする。
- 既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、鉄筋探査の上、原則としてダイヤモンドカッターによる。
- 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。
- 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- 系統が分かるように、必要箇所（機械室、ＰＳ内等）に文字書き・矢印記入・バルブ札取付をおこなう。
- 給水分岐時の断水後は、該当既設系統のエア抜き、サビ水抜き、通水調整を十分におこなう。

共通事項

保温工事
- ◎保温施工種別　・共通仕様書による。
- ◎下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による）

屋外露出・多湿箇所　PS	保温筒　SUS鋲板仕上げ	
天井・PS内	グラスウール保温筒　アルミガラスクロス	
床下・暗渠内　PS	保温筒　防水麻布（アスファルトプライマー）	

◎保温材の厚さ　・共通仕様書による。

◎下表による（但し機器、煙道は共通仕様書による）

８０Ａ以下	20㎜	給排水管　給湯管　温水管　ドレン管
１００ー１５０Ａ	25㎜	消火管（但し屋外のみ）
２００Ａ以上	40㎜	
２５Ａ以下	30㎜	冷水管冷温水管
３２ー２００Ａ	40㎜	
２５０Ａ以上	50㎜	

工事種別　（○印を付けたものを適用する。）

	屋外	屋内	屋内（　）	屋内（　）
給排水衛生設備				
・給水設備				
・排水設備				
・衛生器具設備				
・給湯設備				
・ガス設備	○			
・消火設備				
・ろ過設備				
・浄化槽設備				
空調設備				
・機器設備				
・配管設備		○		
・ダクト設備				
・換気設備				
・排煙設備				
・自動制御設備				

給水設備

給水方式　水道直結式
高架水槽式（　市水　）
圧送方式（　圧力タンク　回転数制御）

受水槽　本体　・ＦＲＰ製　・一体型（・複合板　・単板）
・パネル型（・複合板　・単板）
・ステンレス製　・一体型　・パネル型
・鋼板　・一体型　・パネル型

高置水槽　本体　・ＦＲＰ製　・一体型（・複合板　・単板）
・パネル型（・複合板　・単板）
・ステンレス製　・一体型　・パネル型

配管材料　・ライニング鋼管（屋内露出部）（・ＶＡ・ＶＢ・ＶＤ・ＰＡ）
・ライニング鋼管（・ＶＡ・ＶＢ・ＶＤ・ＰＡ）
・屋内暗渠（・ＶＤ　・ＰＤ）
・塩化ビニル管（地中）（・ＨＩ　・ＶＰ　・ポリ管）
・さや管工法（・架橋ポリ管（被覆）　居室分岐部及び埋設部直結部分　・水道業者指定品
その他の部分　・ＪＩＳ　５Kgf/cm²　・ＪＩＳ　１０Kgf/cm²

量水器　・貸与品　・買い取り（私設）

水栓　・水栓は節水コマとする。

引込加入、市納金等　・要（＊別途工事　・本工事）　・不要

その他

排水設備

排水方式　屋内　分流方式　合流方式
屋外　分流方式　合流方式
雨水　分流方式　合流方式

放流先　汚水　下水管　浄化槽　合併処理槽　既設桝
雑排水　下水管　合併処理槽　側溝又は河川　既設桝
雨水　下水管　調整池　側溝又は河川　既設桝

・配管材料
屋内汚水管　・ラバージョイント形排水鋳鉄管・コーティング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
・耐火被覆ビニル管
雑排水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）機械廻り
・コーティング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
・耐火被覆ビニル管　・耐熱塩化ビニル管（ＨＴ）
通気管　・配管用炭素鋼管（白）
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
・耐火被覆ビニル管
屋外排水管　・遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管・２種　・１種）
・硬質塩化ビニル管（ＶＵ）１５０Ａ以上

・桝　・公団形（Ｂ種）　・現場打　・市販桝　・小口径　・ビニル桝

・下水納付金等　・要（＊別途工事　・本工事）　・不要

その他　各階に伸縮離手取付

衛生器具設備

・大便器洗浄方式　・ＦＶ（・節水形　・低圧式）　・洗浄タンク

・水栓　・節水コマ（泡沫式は除く）　・普通コマ

・その他　・和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける

給湯設備

給湯方式　・中央式　・ボイラー　・温水機　・ガス給湯器　・エコ給湯機
・局所式　・ガス給湯機　・瞬間湯沸器　・電気温水器

配管材料　・鋼管（・Ｍ　・Ｌ）　・被覆鋼管（・Ｍ　・Ｌ）・ステンレス鋼管
・耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
・内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（土中、暗渠）
・耐熱性硬質塩化ビニル管
・さや管工法（・架橋ポリ管（被覆））

燃料　・都市ガス　・ＬＰＧ　・灯油　・Ａ重油　・電気

その他

ガス設備

ガスの種別　・都市ガス（種別　１３Ａ　発熱量１１，０００ｋｃａｌ／ｍ３　供給事業者名　）
◎液化石油ガス（発熱量　１２，０００ｋｃａｌ／ｋｇ）

・配管材料　◎配管用炭素鋼鋼管（白）
◎ビニル被覆鋼管（地中埋設部）
・ポリエチレン管（屋外地中埋設部）
・供給事業者の仕様による。

・ポンベ　・別途　・本工事
ポンベ（・１０　Ｋｇ　・２０　・５０Ｋｇ・バルク）本数（３＋３本）
転倒防止鎖等（・本工事　・別途工事）

・気化装置　・要（＊電気式　・温水　）　・不要

・メーター　・貸与品　・買取品

・ガス漏れ検警報器　・本工事　・別途工事　・一般形　・自動遮断弁付

・引込納付金等　・要（＊別途工事　・本工事）　・不要

・その他

消火設備

消火設備の種別　・屋内消火栓　・屋外消火栓　・スプリンクラー消火　・特定施設ＳＰ
・粉末消火　・連結送水管　・連結散水管　・移動粉末消火・フード消火
・粉末強化液　・探水設備　・消火器

・屋内消火栓箱　・１号消火栓

・屋外消火栓箱　・ＨＢ－２１　・ＨＢ－２２

・連結送水管　・ＨＢ－１１Ａ，Ｂ　・ＨＢ－１２Ａ，Ｂ

・配管材料　◎鋼管（・ＪＩＳＧ３４５２　・ＪＩＳＧ３４５４）・ＳＧＰ－ＶＳ

・消火栓弁　１０Kgf/cm²

・その他　・消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

ろ過設備

・方式　・砂　・フィルター　・

・制御　・全自動　・手動

・配管材料　・配管用炭素鋼鋼管（白）
・耐熱性塩化ビニル管　・耐衝撃性塩化ビニル管（ＨＩ）
・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管（熱交換器廻り）

・その他

浄化槽設備

・方式、容量　・単独　・合併　算定人員　１５人槽

・材質　・ＦＲＰ製　・コンクリート既成管　・ＲＣ躯体

・補強スラブ　・要　・不要

・その他

機器設備

・設計空気条件　・外気　夏季　℃　％　冬季　℃　％
（指示なきは建設省建築設備設計基準による）　・室内　夏季　２６℃　％　冬季　２２℃　％
・一般系統の湿度は成行きとする。

・熱源機器　・冷温水発生機　・チラー（・空冷ＨＰ　・空冷　・水冷ＨＰ　・水冷）
・温水ボイラー　・氷蓄熱

・放熱器　・空冷ＨＰパッケージ　・ガスＨＰパッケージ　・ＦＣＵ　・ＡＨＵ

・その他　・

配管設備

・配管方式　・冷媒配管　・冷温水配管　・冷却水配管　・温水配管

・配管材料　・冷媒管　・冷媒用銅管　◎冷媒用被覆銅管
・冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管
・冷水、温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管
・内外面耐熱性硬質塩ビライニング鋼管（暗渠）
・ドレン管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管
※屋外露出部はカラーＶＰ
・油管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）　・外面塩ビ被覆鋼管
・蒸気管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）

・弁類　・ＪＩＳ　５Kgf/cm²　・ＪＩＳ　１０Kgf/cm²
呼び径１００Ａ以上の弁は係員と協議のうえバタフライ弁を使用してよい。

ダクト設備

・風道　・低速風道　・高速風道
・風道材質　・亜鉛鉄板　・塩化ビニルライニング鋼板・ステンレス板・消音フレキ　・フレキシブルダクト
・吹出口・吸込口の材質・アルミ(ウム)製　・鋼板製(指定色焼付塗装)　・塩化ビニル管（ＶＵ）多湿箇所
・その他

換気設備

・換気方式　・局所　・中央
・風道　・低速風道　・高速風道
・風道材質　・亜鉛鉄板　・塩化ビニルライニング鋼板　・ステンレス板（屋外部）
・塩化ビニル管（ＶＵ）多湿箇所　◎スパイラルダクト
・吹出口・吸込口の材質　ダクトの当該項目による。
・耐火被覆　・湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
・その他　・厨房内換気ダクト、外気取り入れダクトは断熱のこと
・厨房排気ダクトはハゼ部シール処理のこと

排煙設備

・風道材質　・亜鉛鉄板　・普通鋼板（厚１．６㎜）
・排煙口の形式　・天井取付　（・スリット形　・スイング形　）
・排煙口開放装置　・手動　・手動及び遠隔操作可能なもの。
・復帰方法　・遠隔形　・手元形
・排煙風量測定　・建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
・その他

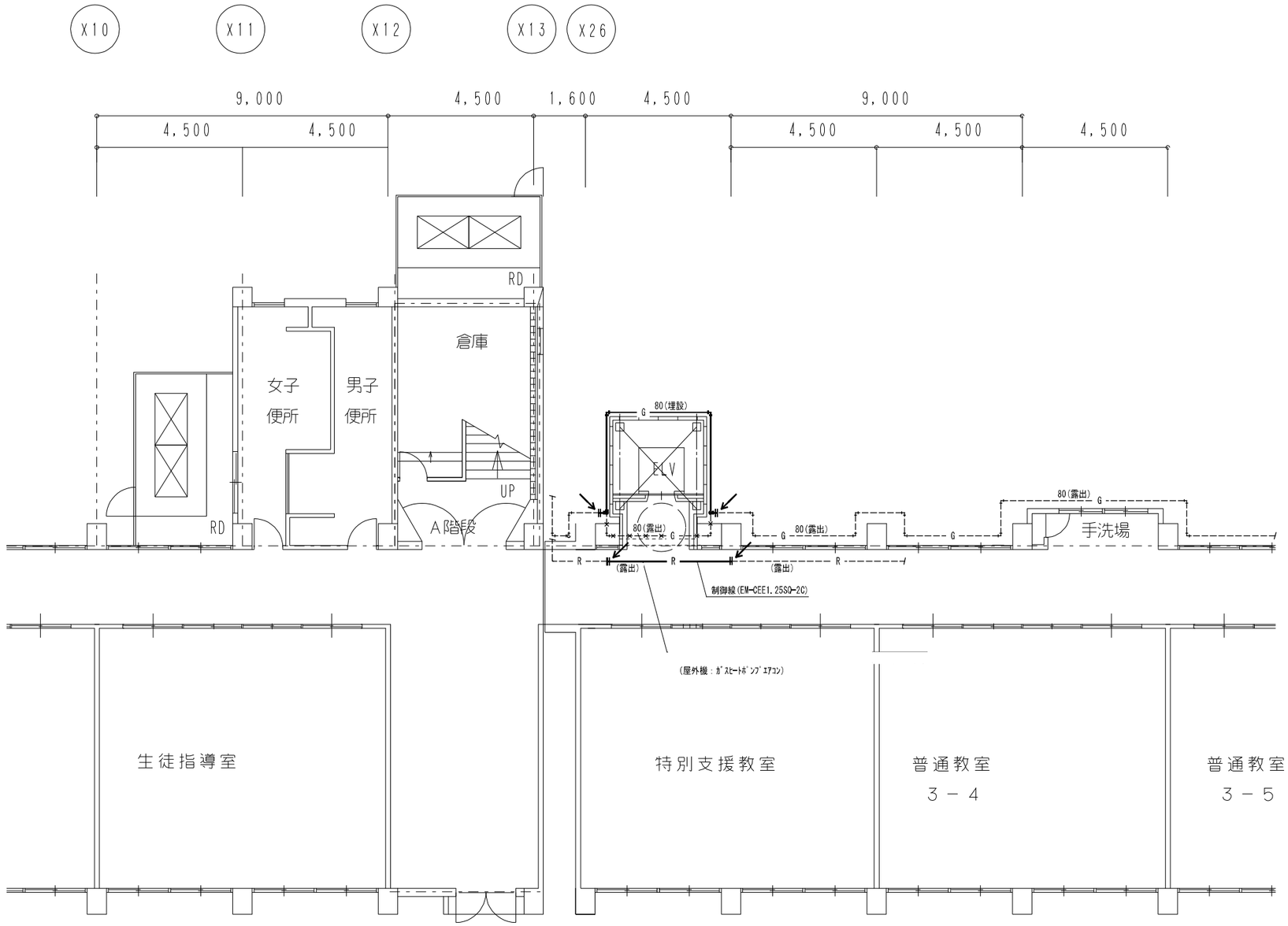
自動制御設備

・制御方式　・電子　・電気　・空気
・その他

メーカーリスト　下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

分類	資材名	指定メーカー
管	継手共	水マーク表示品ＷＳＰ規格品ＨＡＳＳ表示品ＪＩＳマーク表示品　他規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
保温材	ＲＷ、ＧＷ保温材	ＪＩＳマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生陶器・水栓	ＪＩＳマーク表示品　（規格以外）　ＩＮＡＸ　東陶機器
水槽	ＦＲＰ製	積水プラント　日立化成　プリジストン　三菱樹脂
	鉄パネル	積水プラント　プリジストン
桝	桝類（公団型）	協和コンクリート　桑名工業　昭和工業　ネオジオ　丸八産業
鋳鉄製品	排水金物	オオタケ　カネソウ　ダイドレ　中部　南濃　福西　ホクキャスト
	鋳鉄製蓋	（マンホール、弁附蓋）　評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計　金門製作所　リコー精器
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機　桂精機　藤井合金　富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品
	ガス給湯器（ＬＰＧ）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの
	厨房器具	アイホー　コメットカトウ　サンウェーブ　トーヨー　日本調理機　フジマック
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所　富士工器　富士電機　松下電工　矢崎総業
遠過装置	遠過装置	三協　三浦　サンケイ　鼻　アクアバル
減圧器	減圧器	礎材　オーヤラックス　水道機工　日本普連
消火設備	消火栓類	立売堀製作所　岸本産業　北浦製作所　村上製作所　横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	ノーミ　ニッタン　日本ドライケミカル　能美防災　ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災　セコム　日昭・林テクノス　日信防災　ニッタン　能美防災
浄化槽	合併浄化槽（ＲＣ造）	ＬＩＸＩＬ　西原ネオ　日本理化
	合併・単独浄化槽（ＦＲＰ製）	（ＦＲＰ製）建設大臣型式認定品
防臭水洗	クリーントイレ	ＬＩＸＩＬ　積水化学　ネポン　日立化成　松下電器産業　ロンシール
グリス・ガソリントラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ　栗本　下田機工　積水プラントシステム
特殊ガス	特殊ガス設備	川重防災　セントラルユニ　田中製作所　テイサン
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所　広島鉄工　ベルテクノ　ホーコス　森松工業
温水機	真空式温水機	昭和鉄工　高尾鉄工所　タクマ　前田鉄工所　三浦
	貫流温水機	愛知電機　東芝　日本イトミック　松下電器産業　三菱電機
ボイラー	鋼製ボイラー	石川島汎用バイラー　高尾鉄工所　タクマ　前田鉄工所
	セクショナルボイラー	昭和鉄工　巴商会　前田鉄工
	小型ボイラー	愛知電機　石川島汎用ボイラー　荏原ボイラー　クボタ　昭和鉄工　巴商会
冷凍機	冷温水発生機（５０ＲＴ以下）	建築設備工業　川崎重工業　クボタ　三洋電機　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業
	小型冷温水発生機	荏原製作所　三洋電機　東芝　日立製作所　松下電器産業　矢崎総業
	冷凍機	荏原製作所　川重冷熱工業　クボタ　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業　三菱電機
	パッケージ型空調機	ダイキン工業　東芝　三菱電機
空気調和機	ユニット型空気調和機	評価事業名簿による
	ファンコイルユニット	評価事業名簿による
	ファンコンベクター	評価事業名簿による
冷却塔	冷却塔	荏原シンワ　空研工業　三菱樹脂
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工　高砂ゴム　特許機器　ブリジストン　明治ゴム化成
加湿器	加湿器	ウェットマスター　ピーエス工業　山武計装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	栗田工業　東芝　日立製作所　松下電器産業　三菱電機
全熱交換器	全熱交換器	評価事業名簿による
	エアーフィルター	評価事業名簿による
ダクト附属品	吹出口・吸込口	空研工業　新晃工業　トーキン　錦興業
	風量ユニットＣＡＶ，ＶＡＶ	空研コンスター　クボタ　新晃工業　東プレ
	亜鉛鉄板	ＪＩＳ規格品
	ステンレス鋼板	ＪＩＳ規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業　栗木　泰弘　富士空調工業　フジモリ産業
	フレキダクト	アライ実業　オーツカ　栗本
自動制御	自動制御機器	トキメックランデイスギア　山武ハネウェル　横河ジョンソンコントロールズ

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事　DATE: R6.3
TITLE:	機械設備　特記仕様書　FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所	SCALE: 1:NS　SHEET NO: 1:NS　北M-01
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史	

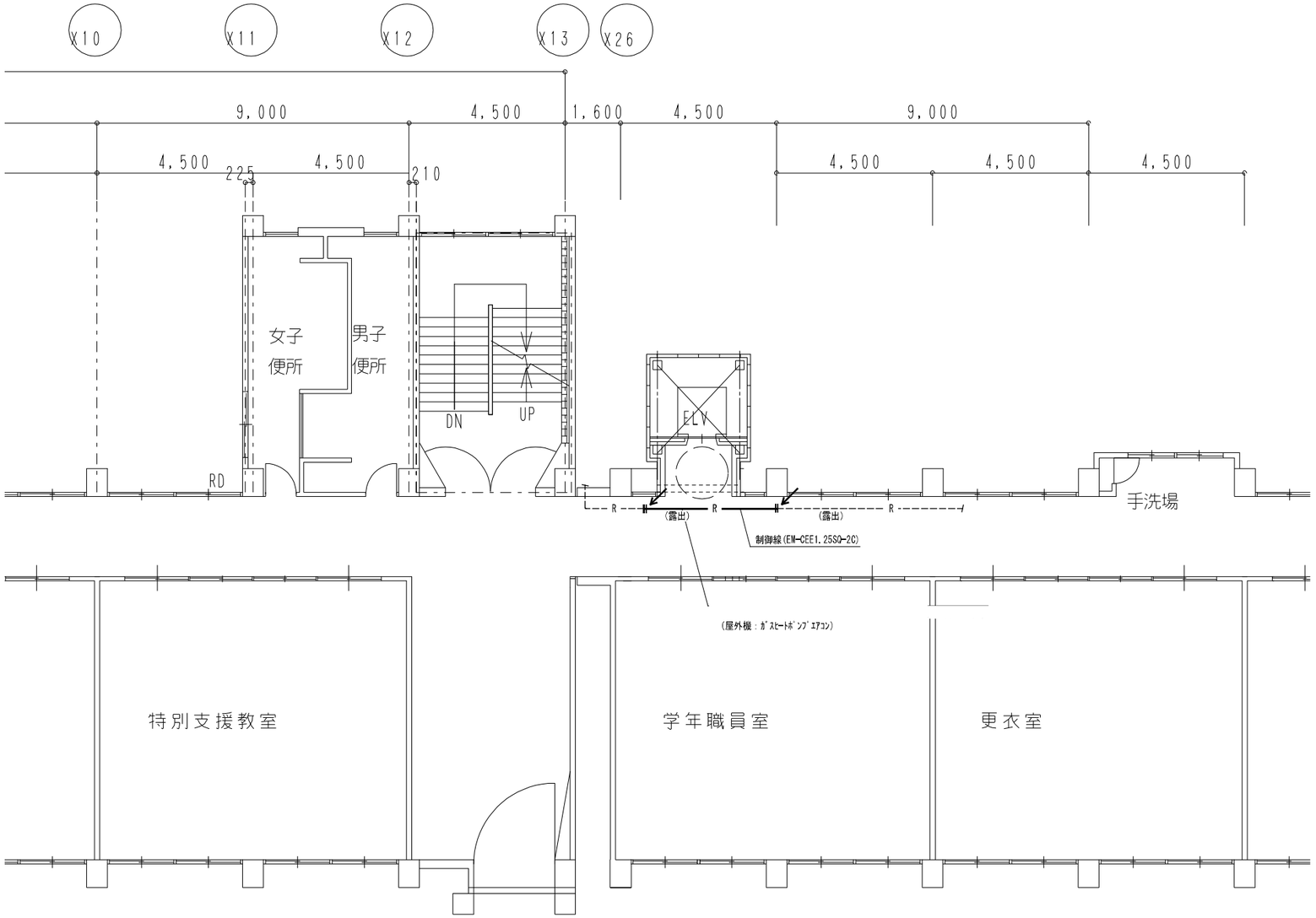


凡例	
新設配管を示す	———
既設配管を示す（残置）	– – – –
既設配管を示す（撤去）	–×–×–
既設配管切断箇所を示す	‖
既設配管接続箇所を示す	←

※配管復旧後、空調設備機器の試運転を実施すること

1階平面図　A2：1/50

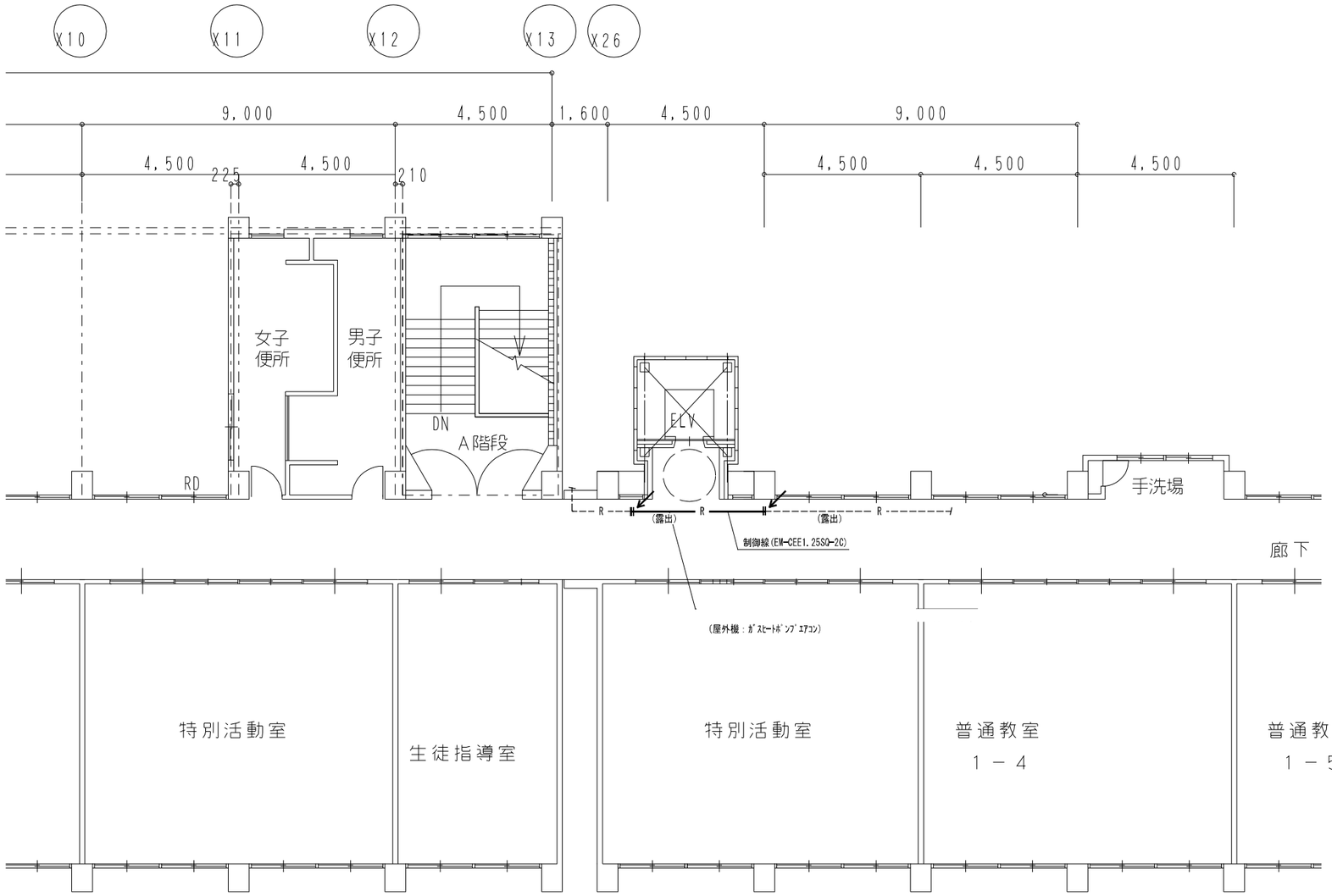
SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	1階平面図 **（ガス・空調設備）**	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE: 1:50(A2) 1:71(A3)	SHEET NO: 北M-02
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史			



凡例	
新設配管を示す	———
既設配管を示す（残置）	- - - -
既設配管を示す（撤去）	—×—×—
既設配管切断箇所を示す	‖ =
既設配管接続箇所を示す	←

2階平面図　A2：1/50

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	2階平面図 **（ガス・空調設備）**	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE: 1:50(A2) 1:71(A3)	SHEET NO: 北M-03
一級建築士事務所	一級建築士第 301771号 森本雅史		



凡例	
新設配管を示す	———
既設配管を示す（残置）	- - - -
既設配管を示す（撤去）	—×—×—
既設配管切断箇所を示す	‖
既設配管接続箇所を示す	←

3階平面図　A2：1/50

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	3階平面図 **（ガス・空調設備）**	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所	一級建築士第 301771号 森本雅史	1:50(A2) 1:71(A3)	北M-04

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	Ｐ１１－ＣＯ
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（１Ｃ－２ＢＣ）
	積載量	７５０ｋｇ
	定員	１１名
	定格速度	４５ｍ／ｍｉｎ
	戸閉方式	２枚戸両引き（ＣＯ）
	出入口幅	８００mm
	出入口高さ	２１００mm
	かご室サイズ（内法間口）	１４００mm
	かご室サイズ（内法奥行）	１３５０mm
	かご室内法高さ	２３００mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	３停止（１－３階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２１０Ｖ－６０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－６０Ｈｚ

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	公共建築工事標準仕様　適用年版	令和４年版
	敷居間隔	１０mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	３枚
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし　１３０mm～３５０mm　ステンレスヘアライン（１－３階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（１－３階）
	乗場敷居	アルミ製（１－３階）
	乗場インジケーター	一体セグメントＬＥＤ（橙色）　ステンレスヘアライン（１－３階）
	乗場インジー体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－３階）
	乗場インジ運行表示灯１	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形　ステンレスヘアライン（１－３階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－３階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
かご室仕様	天井	スタンダード：フラット（白色）　天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル２mm（メーカー標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製　２枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（１０．１インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	２ヵ国語表示（日本語、英語）
	車いす専用かご操作盤	両側面　ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットＬＥＤ（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	ＤＣファン
	かご室手すり	丸形ステンレス　ニ面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾５００）
	キックプレート	板厚２．０ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より３５０mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
	床保護マット	あり
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
	遮煙機能	大臣認定品　２枚戸両引き用（１－３階）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	６Ｖ１局
	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
	かご室スピーカー	あり
	高調波対策種類	ＤＣリアクトル（Ｋｉ＝１．８）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（２－３階）
	レール支持方式	１フロア１ブラケット
	煙感知器点検ロスイッチ	正面側上部取付　【標準】
	撮重ビーム手配	建築手配
	仮設動力電源	１式　（NANW03269-2）

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点	乗場遮煙ドア設置上の条件
エレベーターかご内のインターホンは，常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理人室等に設置する場合は，２４時間管理人が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号） もしも管理人が常駐しない場合は，以下のいずれかの措置が必要となる。 １．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 ２．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、 鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 ３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。	・乗場遮煙ドアを設置するためには，自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても，同設備を設けること。 ・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には，乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し，火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。 （無電圧ａ接点，接点電圧ＤＣ２４Ｖ）

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

1．　昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は５ｃｍ^{2}辺り３００Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）

2．　鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
3．　鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
4．　鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは１mm以下となる部材を設置すること）
5．　鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
6．　各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
7．　乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
8．　昇降路頂部にエレベーター機器搬重用のフック又はビームの設置工事　※荷重は別紙による
9．　通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から１２５mm以下）
10．　ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
11．　ピット床下部使用の場合の建築対策工事
12．　ピットが深い場合の埋め戻し・浅い場合のはつり工事
13．　段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
14．　昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（２００mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
15．　その他建築に関する工事

設備工事関係

1．　動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（裂ぎ込み工事含む）
2．　インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
（０．９φ×１０本）／台
3．　火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
4．　遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
5．　エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
6．　建設設備運動に必要な接点供給工事
7．　ピット内点検用コンセント設備工事
（照明用ＡＣ１００Ｖとは別系統のこと）
8．　昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成２０年国土交通省告示第１４５４号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
9．　かご内ＴＶカメラがある場合、かご内ＴＶカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・５Ｃ－２Ｖ同軸ケーブル
10．　かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合３線式とすること）
11．　昇降路の換気設備工事（平成１２年建設省告示１４１３号第１第三号ニにより昇降路内温度を４０℃以下に保つ必要があります）
発熱量　エレベーター駆動部（　　㎾アラ台）１
＋エアコン（　　ーW／　台）1
12．　監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

仮設工事関係

つぎの事項についても、すべて本工事（建築工事）に含む。
1．　据付工事用現場詰所および材料置場
2．　据付工事用および試運転調整用電力、セメント、小石等
3．　据付工事用の仮設電源
（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います）
4．　重量物の搬入に支障のない通路の確保
5．　重量物の搬入積引き距離は３０m以内とする
6．　エレベーターシャフトが隣接する場合の落下物防止区画対策・安全対策（ネット等）
7．　安全柵の先行取り付け
＊着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む
8．　展望用エレベーターの場合の施工時のガラス部分養生

エレベーターの工事使用に係る件

1．　エレベーターを工事用に使用される場合は、別途契約が必要です

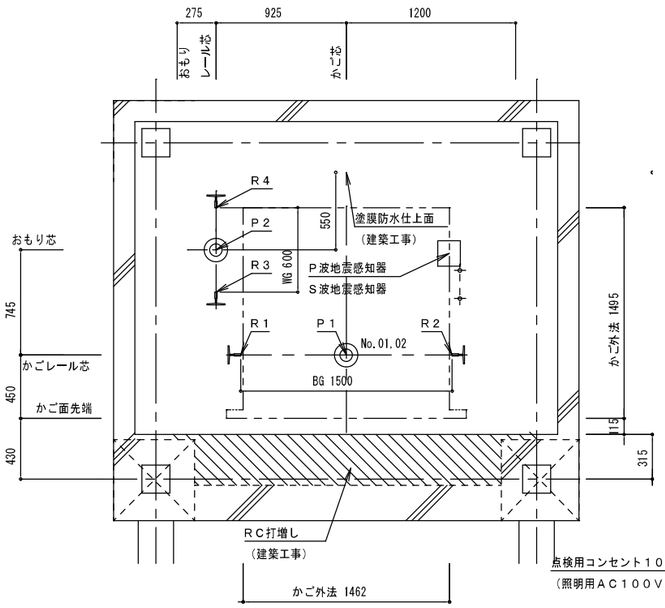
工事関連事項

1．　現場検査立会は、【完了検査】【引渡（施主）検査】の２回と数します
2．　乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工手順と異なる施工は本工事には含みません
3．　施工写真撮影は本工事に含みません

注意事項

1．　昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
2．　コンクリート強度は２１Ｎ／mm^{2}以上のこと
3．　電源電圧の変動は＋５%～－１０%以内、電圧不平衡率５%以内のこと
4．　本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０%・日平均９５%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（２）金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス…Ｈ２Ｓ=０．００５［ｐｐｍ］以下
亜硫酸ガス…ＳＯ2=０．０１［ｐｐｍ］以下
塩化水素ガス…ＨＣｌ=０．０５［ｐｐｍ］以下
塩素ガス…Ｃｌ2=０．００５［ｐｐｍ］以下
アンモニアガス…ＮＨ３=０．１［ｐｐｍ］以下
海岸地区における潮風…海岸より２ｋｍ以上の地区（プールサイドの場合は上記塩素ガスＣｌ２基準値以下）
※海岸より２ｋｍ未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、プタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（３）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が１０Ｖ／m以下の環境とすること
（４）原則、昇降路の設置場所は標高１０００m以下の高さとすること
5．　（１）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（２）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、将装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
6．　昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
7．　昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第１２９条の２の４第１項第三号）
8．　遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
9．　輸送可能な適当配膳車や台車などの重量物は２５０ｋｇ以下とすること
10．　換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
11．　エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
12．　エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１m以上分離する
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
13．　乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平１２建告１４０２号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障がいまいか、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
14．　乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
15．　製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110,2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
16．　かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または緩衝器衝突時は４Ｇ（縦方向）、地震時は１Ｇ（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で５０ルクス（乗用、寝台用以外にあっては２５ルクス）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動休止機能により、照明のＯＮ／ＯＦＦ回数が多い
・かごの昇降による振動がある
17．　施工作業時間条件：月曜日～土曜日　８：００～１７：００
尚、施工作業期間の内「４週６休」就労をさせて頂きます

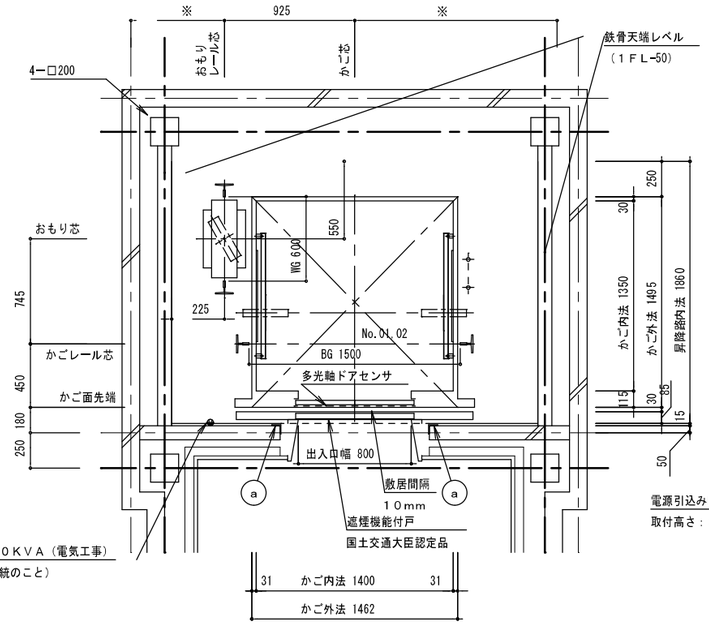
SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	エレベーター詳細図（１）（北中学校）	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社 森本建築事務所		SCALE:	SHEET NO: 北L-01
一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史			



No.01.02

昇降路平面図 （1／30）

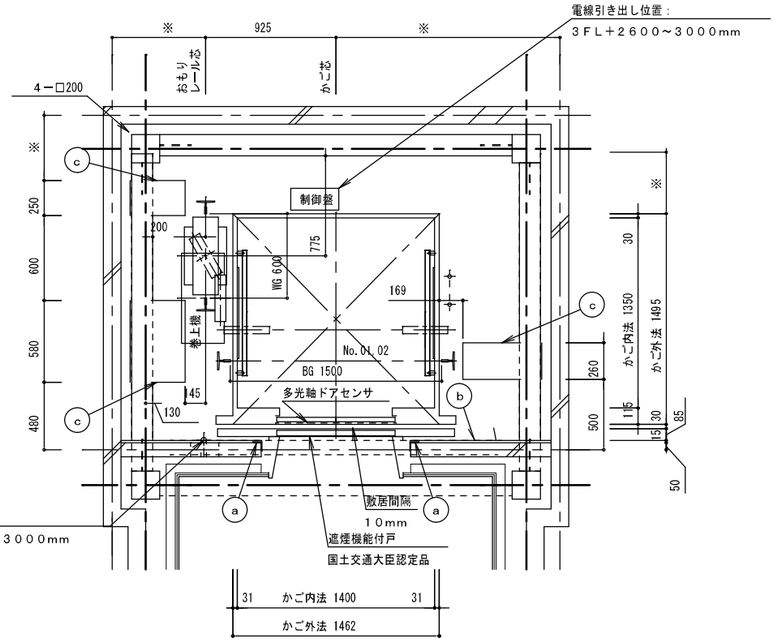
（ピット）



No.01.02

昇降路平面図 （1／30）

（１階）



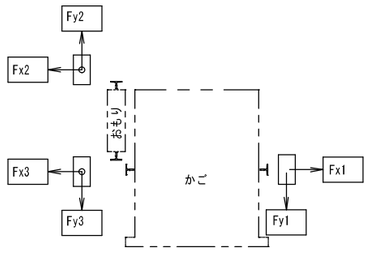
No.01.02

昇降路平面図 （1／30）

（２−３階）

NO. 01, 02

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重



Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２	Ｆｘ３	Ｆｙ３
４．９８	４．５５	３．９２	７．８３	８．８９	１０．３２

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

U電源引込み口（３ＦＬ＋２６００～３０００mm）
U動力用ＡＣ３φ−２１０Ｖ−６０Ｈｚ
U照明用ＡＣ１φ−１００Ｖ−６０Ｈｚ
UD種接地工事
U・インターホン用配管配線工事
U　ＣＰＥＶ−０．９×５Ｐ／台
U・火災管制運転用配管配線工事
U　自火報より無電圧ａ接点支給／台
U・遠隔監視用配管配線工事
U　ＰＶＣ−０．６５×４Ｃ／台
U・カゴ上スピーカー用配管配線工事
U　ＨＰ１．２mm×３Ｃ／台
U電源線引出し長さ　１００００mm
（電気工事）

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材（壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ−６５×６５×６	建築工事

ピット荷重（短期荷重）		レール下端部荷重（長期荷重）			
Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）	Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
７５．２	６３．５	３．６	２３．４	４３．４	１９．８

高調波対策（高調波流出電流計算値）※１台当たり

高調波対策内容		機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量Ｐｉ（kVA）	回路分類細分Ｎｏ．	６パルス換算係数（Ｋｉ）	６パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%）							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
	ノイズフィルタのみ（標準）	０１，０２号機 (750kg−45m/min)	4.8	1	4.8	~~31~~	~~3.4~~	~~16.2~~	~~25~~	~~65~~	~~41~~	~~8.5~~	~~7.7~~	~~4.3~~	~~3.1~~	~~2.6~~	~~1.8~~
○	DCリアクトル追加（Ki=1.8相当）					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量（mA）＝ $\dfrac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋＶＡ）}}{\text{受電電圧（ｋＶ）}\times\sqrt{3}}\times 10^{3}\times$各次数毎の発生率Ｉｎ（%）×機器最大稼働率ｋ（%）

SUBJECT: 桔梗が丘及び北中学校エレベーター新設工事
DATE: R6.3
TITLE: エレベーター詳細図（2）（北中学校）
FILENO: 301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES
CHECKED BY:
株式会社 森本建築事務所
一級建築士事務所 一級建築士第 301771号 森本雅史
SCALE: 1:30(A2) 1:42(A3)
SHEET NO: 北L-02

動力電源設備（絶縁トランス適用時，ＣＶＴ電線使用時）※１台当たり

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値 (*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２１０　Ｖ ６０　Ｈｚ	３．８ｋＷ	４ｋＶＡ	４０ＡＴ	１００　ｍＡ以上 ０．２　秒以上	８２　ｍまで　８ｍｍ² １４２　ｍまで　１４ｍｍ² ２１６　ｍまで　２２ｍｍ²	３．５　ｍｍ²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　６０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

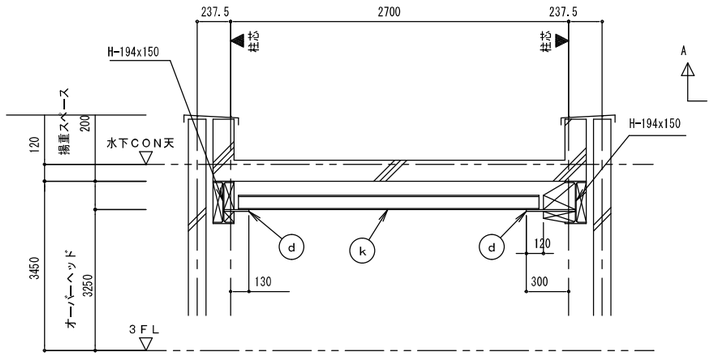
（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

揚重ビームに掛かる荷重

Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）
６．０	２．０	８．０
Ｑ４（ｋＮ）	Ｑ５（ｋＮ）	Ｑ６（ｋＮ）
１０．０	１６．０	１１．０

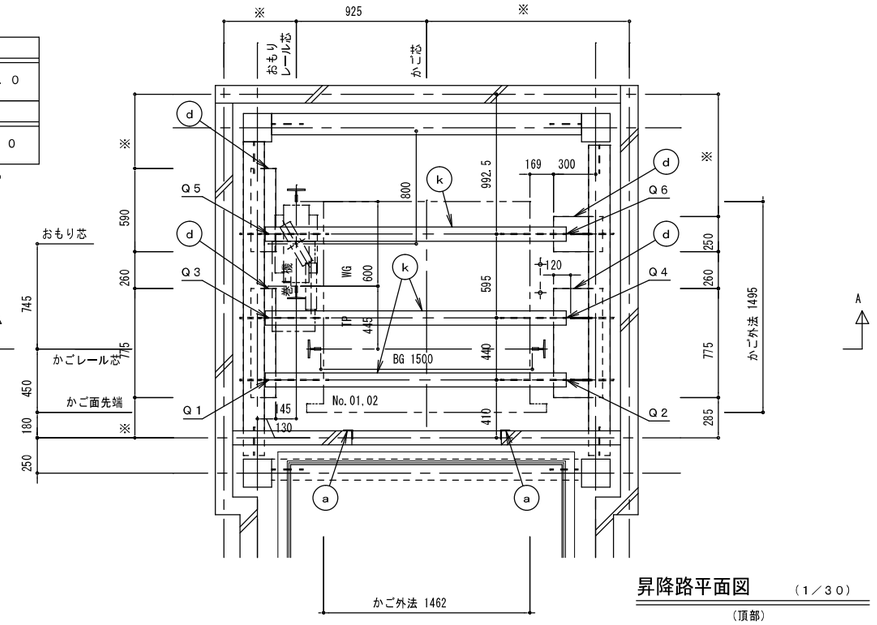
Ｑ１～Ｑ６はＥＶ据付時に作用する

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１００×１００×７	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
k	揚重ビーム（ビーム残置）	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事



昇降路頂部断面図　（１／３０）

断面Ａ－Ａ

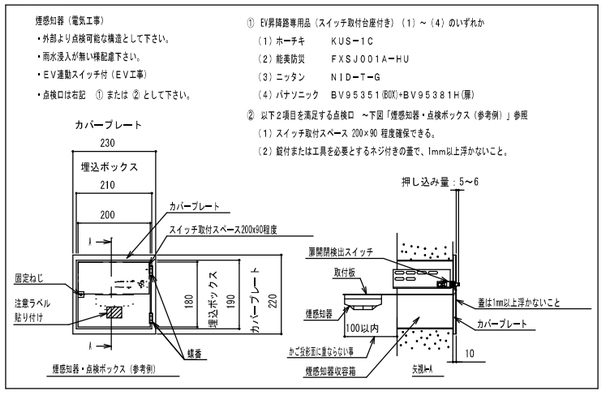


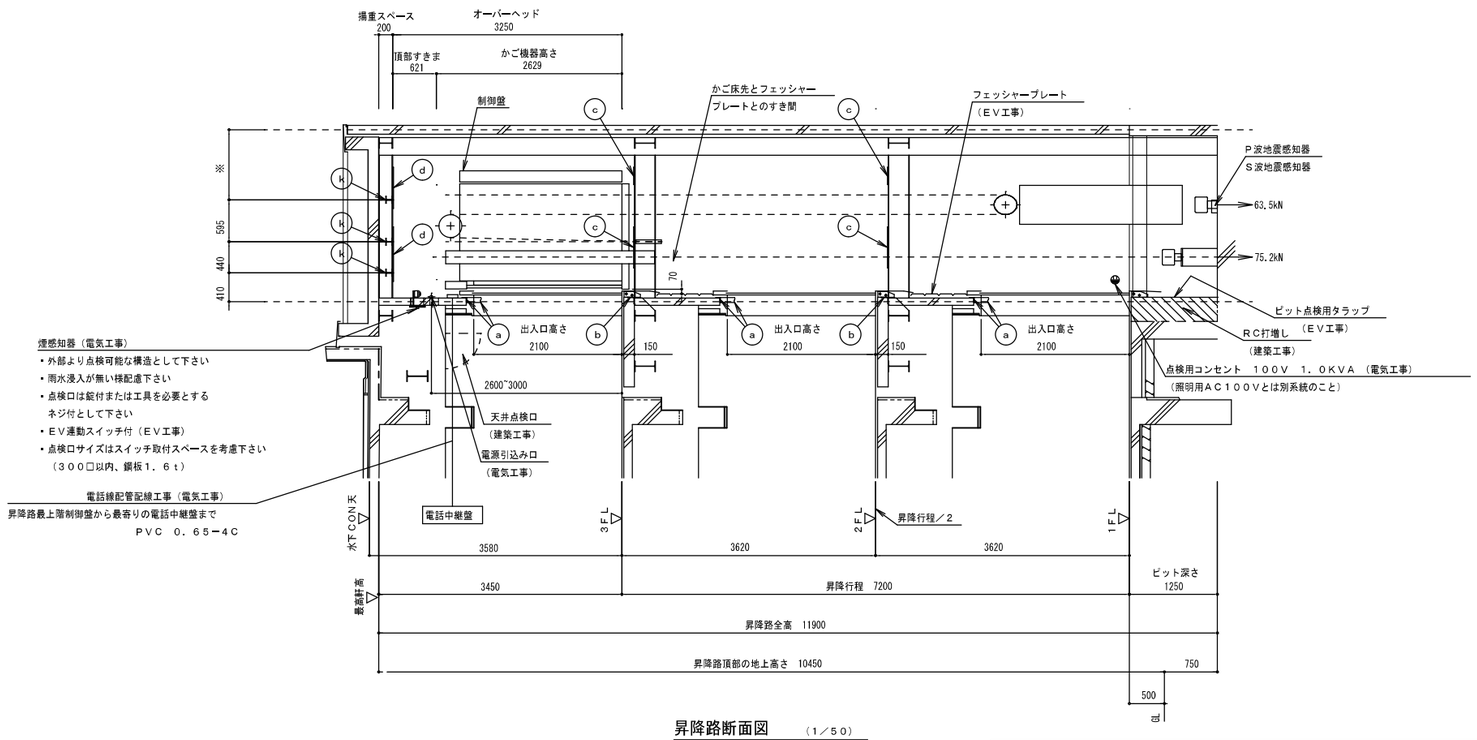
昇降路平面図　（１／３０）

（頂部）

（３ＦＬ＋３２５０）

煙感知器施工例

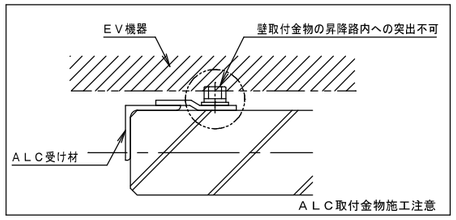




昇降路断面図　（１／５０）

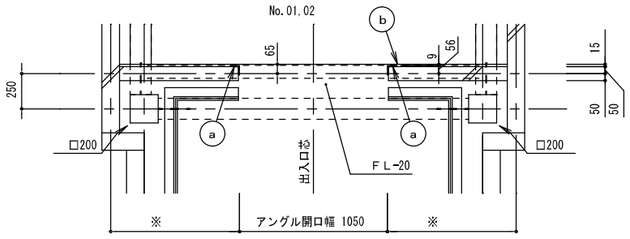
昇降路内の温度は４０℃以下とする

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	エレベーター詳細図（３）（北中学校）	FILENO:	301
MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES		CHECKED BY:	
株式会社	森本建築事務所	SCALE:	SHEET NO:
一級建築士事務所	一級建築士第 301771号 森本雅史	1:30他(A2) 1:42他(A3)	桔L-03

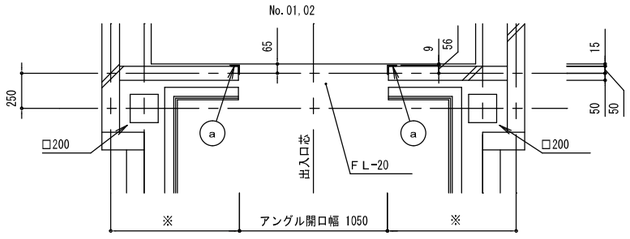


部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１００×１００×７	建築工事

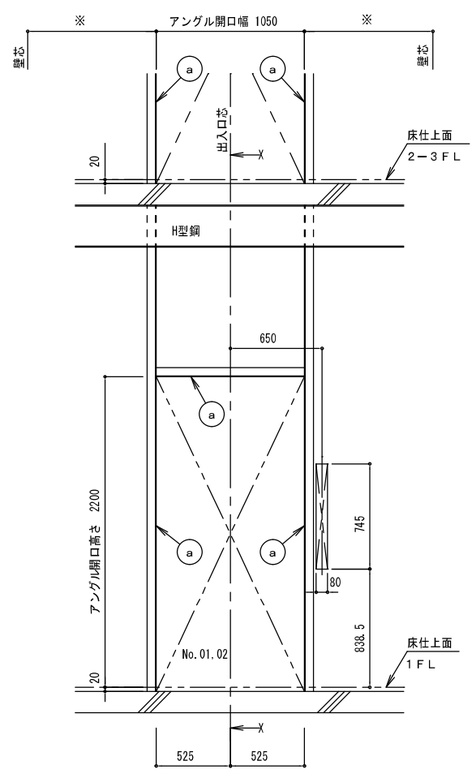
意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	ＤＣ軸流ファン
照明	乳白色樹脂照明板 ＬＥＤ照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル　ｔ２
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上　ｔ１．５
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ３２）　キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ　ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５ｍｍ）
床マット	あり



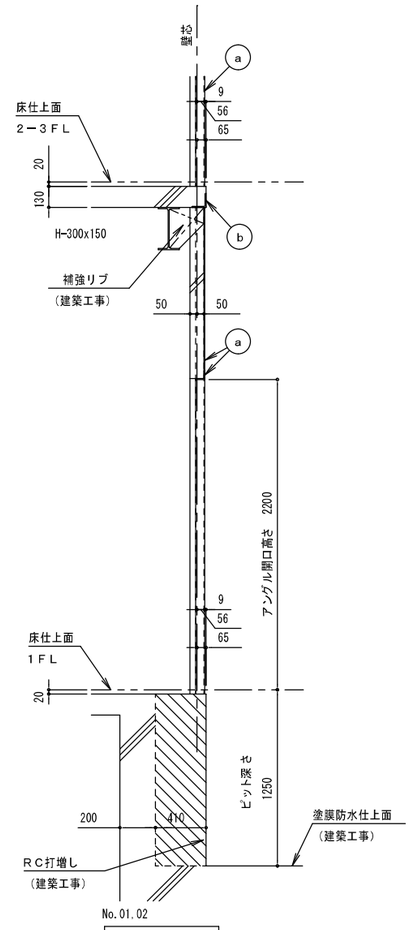
No.01.02
昇降路穴あけ図　（１／３０）
（２－３階）



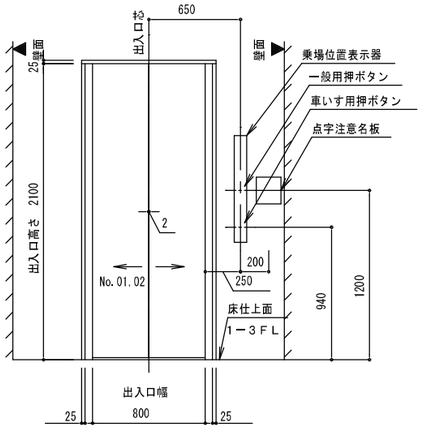
No.01.02
昇降路穴あけ図　（１／３０）
（１階）



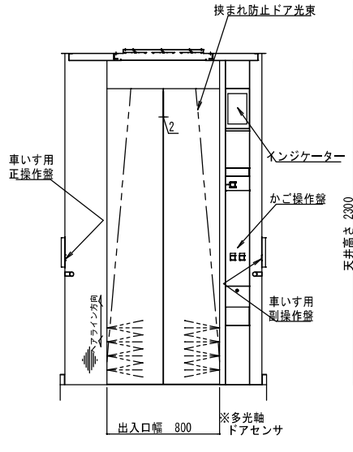
No.01.02
乗場穴あけ図　（１／３０）
（１－３階）



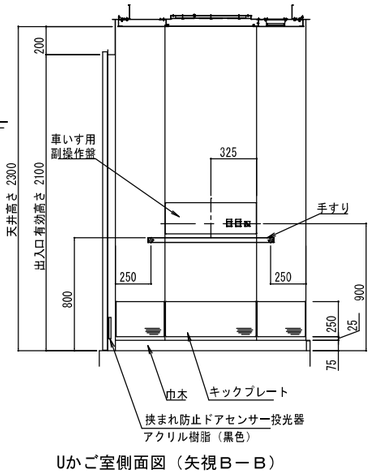
No.01.02
Ｘ－Ｘ断面



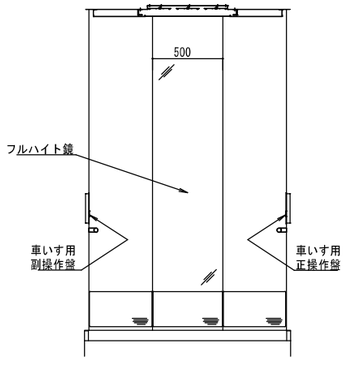
No.01.02
乗場正面図　（１／３０）
（１－３階）



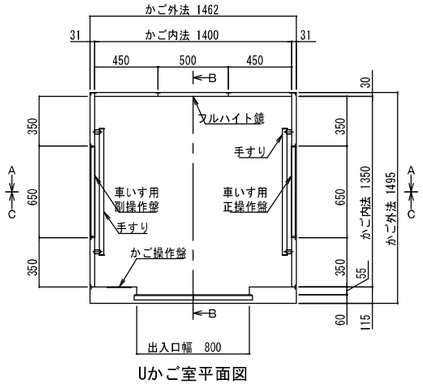
Uかご室正面図（矢視Ａ－Ａ）



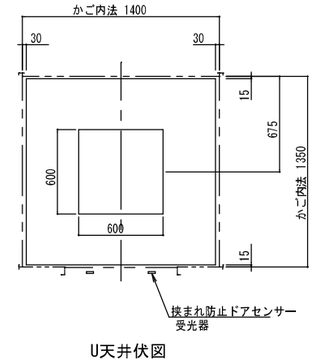
Uかご室側面図（矢視Ｂ－Ｂ）



Uかご室背面図（矢視Ｃ－Ｃ）



Uかご室平面図



U天井伏図

No.01.02
かご室意匠図　（１／３０）

SUBJECT:	北中学校エレベーター新設工事	DATE:	R6.3
TITLE:	エレベーター詳細図（４）（北中学校）	FILENO:	301
	MORIMOTO ARCHITECT & ASSOCIATES	CHECKED BY:	
株式会社	森本建築事務所	SCALE:	1:30(A2) 1:42(A3)
		SHEET NO:	北L-04

一級建築士事務所　一級建築士第 301771号 森本雅史